

英語が母国語同様になる！

ひとり言で マスターできる英会話

久保田 八郎／アン・デイカス



英語が母国語同様になる！

ひとり言で マスターできる英会話

久保田 八郎／アン・デイカス

主婦の友社

は じ め に

日本は世界有数の英語教育国です。中学から高校にかけて6年間英語を学び、大学へ進学した人はさらに2年以上4年間学びますから、たいていの人は英語を6年以上10年間は学んでいます。しかも英会話の学習書や録音テープ類が氾濫し、英会話学校や英語塾なども隆盛をきわめており、およそ英語の学習に不自由することはありません。加えて海外旅行に出る人が年々増大し、そのために英語学習熱も高まる一方で、いまや『英語、英語と草木もなびく』というありさまです。また、英語が重要な国際語になっている事実は海外へ出てみるとよくわかります。

それにもかかわらず、日本人で英語を達者に話せる人があまりにも少ないのは、どういうわけでしょう。大学を出た、高度な知識と教養を持つ人が、海外へ旅行に出てウンともスンとも英語がしゃべれず、途方にくれている光景を著者は何度も目撃していますし、柔軟な頭脳を持つ若い人たちで、せっかく英会話の学習を思い立ち、数万円の投資をして学習用のテープとテキストのセットを購入しながら、まもなく雄図むなく挫折して、「やはり自分には英語はモノにならないんだ」と嘆く人を何人見たことでしょう。そして少なからぬ人が次のように言います。「外国で数年暮らさなければ英語は身につかないよ」。

はたしてそうでしょうか。日本で暮らす日本人は、よほど特殊な才能を持たぬ限り、英語をマスターすることは不可能なことでしょうか。

「そんなことはない！」と著者は断言します。学習法を根本的に変えればよいのです。これまで広く行われていた英語学習法が完全に誤っていたとは申しませんが、少なくとも英語の語感を身につけるのに縁遠い方法であったことは確かです。およそある外国語が借り

物でなく自分自身の言葉として——つまり母国語として——口からむぞうきに出るようになるまでには、同じ言葉を数十度数百度も口から出して慣れておく必要がありますが、そのためには、自分自身の日常生活における行動に密着した言葉から慣れていくのが順当であるにもかかわらず、従来の英語学習に使用されるテキスト類には、日常生活とかけ離れた偉人の物語・外国文化・外国の小説の要約などが出てきますし、英会話書にしてもやはり日常生活にあまり関係のない『ホテルにて』『デパートにて』『郵便局にて』というような見出しのもとに、自分とは関係のない第三者同士が言葉のやりとりをする状況が展開します。こうした会話表現は学習者が慣れようとして数十度、数百度も反復して口に出すには不向きです。なぜなら自分自身の日常生活の行動に直接の関係がないからで、学習者はいわば自分があたかもホテルのフロントで係員と向かい合っているかのごとき場面を想像しなければなりません。日常生活と関連のない光景を想像しながら外国語の会話表現を反復してやがてそれを母国語のごとく身につけるのは、全く不可能ではないにしても、ずいぶん日数を要することでしょう。

英語を母国語のようにする方法

それなら、われわれ日本人が英語を母国語のように身につけるにはどうすればよいか。最上の方法は次のとおりです。

1. 学習者が自分自身の日常の行動に際して日本語で考えるとき、それを英語に切りかえて、英語で考えるようにする。
2. 英語で考えるといっても、声なき言葉を頭の中で流すよりは、小さな声で口に出して、つぶやいてみる。
3. つぶやく英語は自分の日常生活と密接な関連のあるものでなければならない。個人の生活のパターンは大体に一定しているので、毎日きまりきった行動に際して、そのたびに自分の気持ちをあら

わす同じ英語をつぶやくことを繰り返していれば、いつしかその英語は借り物ではなく、自分自身の思想や感情の言葉による表現となる。

ここでたいせつなのは、自分の行動にともなって口から発せられる英語は、あくまでも英米人が実際に日常で考えたり、つぶやいたりする英語そのものでなければならず、自己流の和製英語であってはならないということです。これは当然のことですが、とにかく日本人は自分でかってに単語を並べて“自分だけに通用する英語”を作る傾向がありますから、注意を要します。

以上を要約しますと、日本人が日本国内で日本語の大海の中に住みながら、しかも英語を母国語のごとく身につけるには、**絶えず英語でひとり言**をいえばよい、ということになります。また、どう考えてもこれ以外に方法はないのです。こうして終日、常に英語を口に出してぶつぶつつぶやいていることは、とりもおさず自分だけは英語圏内に住んでいることになり、つぶやく英語がいかに簡単な表現であっても実際は英語で考えていることになります。

こうして、最初は小さいながらも自分の内部に“英語で考えることのできる世界”を作り上げてしまえば、もうしめたもので、あとはそれに肉をつけ皮をつけて、しだいにその世界を拡張していくことができます。そのときこそ、第三者同士の会話にすぎない、自分の生活環境とは関係のないと思われるような『ホテルにて』『デパートにて』『郵便局にて』という一見無味乾燥な会話表現が、切実な生きた言葉として感じられるようになり、さらに政治・経済・文化に関するむずかしい会話も、その方面の英文を一読しただけで、談話として他人に楽に話せるようになるのです。この“英語で考えることのできる世界”，言いかえますと、自分で英語によりひとり言のいえる世界を持たない限り、どんな英会話書を学んでも、むなしい棒暗記となり、母国語同様に英語を身につけることは困難です。日本

人が救いたいほど語学に弱い民族だといわれるのは、日本人の頭がだめなのではなく、学習法がひどくまちがっていたからだと言えます。流暢な英語を話す国際人たれんとする人は、思いきって学習法の大転換を図る必要があるのです。

ところで、英語を母国語同様に話すバイリンギスト（二カ国語を母国語とする人）の日本人は無国籍人種になるのではないかと懸念する人があれば、心配無用と申しておきましょう。日本人の民族意識の強さは世界無比ですから、その点はOKです。

本書はこれまでの英会話書に全く見られなかった独創的なアイデアにより、英語でひとり言をつぶやくことによって本物の英語を身につける画期的な方法を公開したものです。この執筆にあたっては米人のアン・デイカス夫人のご協力を得て完璧を期しました。夫人は父君がアメリカ人で母君は日本人ですが、小学校と中学の教育は、英語で教える日本の外人専用の学校で受けて、そのあとアメリカで高校とカレッジを卒業して来日し、日本の上智大学国際部（授業はすべて英語で行われる）で英文学と日本文学の比較文学を学んだ才女です。日本語も達者です。したがって本書に出てくる日本語に対応する英語は、一般アメリカ人が日常生活で考えたりつぶやいたりしている生きたアメリカ英語そのものです。安心して応用し、大いに英語でひとり言をいってください。Well, this book will make me a bilingualist!（よし、この本で私もバイリンギストになれるぞ!）と。

久保田八郎

目 次

| | |
|----------------------|----|
| はじめに | 3 |
| 英語を母国語のようにする方法 | 4 |
| 本書の応用法 | 10 |

第 1 部

| | |
|-------------------|----|
| 1. 寝床の中で | 15 |
| 2. 床を出る | 17 |
| 3. 着がえ | 18 |
| 4. 洗 顔 | 19 |
| 5. 朝 食 | 21 |
| 6. 新 聞 | 24 |
| 7. 身支度 | 28 |
| 8. 家を出る | 31 |
| 9. バスに乗る | 32 |
| 10. 電車に乗る | 34 |
| 11. 車内の広告 | 35 |
| 12. 電車をおりる | 36 |
| 13. 駅から会社まで | 38 |
| 14. 打ち合わせ | 41 |
| 15. 仕 事 (1) | 42 |
| 16. 日本人の英語 | 45 |
| 17. 妹から電話 | 47 |
| 18. 仕 事 (2) | 48 |
| 19. 社内電話 | 49 |
| 20. 原稿の執筆 | 53 |
| 21. 昼休み | 56 |
| 22. 昼 食 | 60 |
| 23. 写真展へ向かう | 63 |

| | |
|----------------------|-----|
| 24. 写真展 | 64 |
| 25. 外へ出る | 66 |
| 26. 帰 社 | 70 |
| 27. 雑 談 | 70 |
| 28. 翻訳の仕事 | 74 |
| 29. 部長との会話 | 75 |
| 30. 翻訳の続き | 77 |
| 31. 一休み | 81 |
| 32. トイレ | 83 |
| 33. 郵便物 | 84 |
| 34. 翻訳の仕事(つづき) | 86 |
| 35. 教えを請う | 87 |
| 36. 最後の仕上げ | 90 |
| 37. タイプを頼む | 91 |
| 38. 退社前に一服 | 92 |
| 39. 事務所を出る | 93 |
| 40. 飲み屋へ入る | 97 |
| 41. 店を出て帰途につく | 102 |
| 42. 帰りの電車 | 104 |
| 43. タクシー | 109 |
| 44. 家に着く | 111 |
| 45. テレビを見て就寝 | 112 |

第2部

| | |
|-------------------------|-----|
| 1. 仕事に関するきまり文句 | 115 |
| 2. 気分・感情に関するきまり文句 | 118 |
| 3. 健康や精神の状態に関する表現 | 122 |
| 4. 学習に関する表現 | 125 |
| 5. 日常の雑事に関する表現 | 128 |

第 3 部

| | |
|-----|-----|
| 依 頼 | 137 |
|-----|-----|

第 4 部

| | |
|----------------|-----|
| 1. 分詞構文は文語体 | 147 |
| 2. 文章体と会話体との相違 | 148 |

本書の応用法

- (1) 本書に出てくる英語のひとり言は老若男女を問わず、だれにも応用できるものですが、ここでは東京に住むアメリカ生まれの日系三世のユキオ・ブラウン君という、大貿易会社の海外広報部に勤める 25 歳の会社員の、春のある一日がストーリーとして展開し、彼が絶えず英語でつぶやきながら行動するという内容になっています。この生活行動は万人にあてはまるものではないかもしれませんが、重要な英語のひとり言が、かなり含まれていますから、読者は一人のユキオとして彼と同じ英語をつぶやくならば、英語が急速に「自分の言葉」になるはずで、す。ただし天候・季節その他の状況で変化があった場合を考えて、一部分の言葉を入れかえた応用表現を数種類併記してありますから、自分自身の環境に応じて適当に使ってください。たとえばブラウン君が *It's warm today.* (きょうは、あったかいなあ) と言っているのに、読者にとって冬の日であれば、*It's cold today.* (きょうは寒いなあ) と言えばよいわけです。その他、読者の行動に応じて適当な英語の表現を選び出して、応用してください。ユキオのひとり言ばかりでなく、同居しているバイリンギストの妹ミチコとの会話や職場での会話もたまに出てきます。これは短い会話ですが、重要なものです。

なお、日常生活の行動に際して、だれもが最もよく口に出してひとり言をいう傾向があると思われる英語の言い回しは、第 2 部にまとめてありますから、これをまず習得するのもよいでしょう。重要なのは、自分が行動するときに必ず口に出してつぶやいてみることです。ふつぶつ言っているのを他人が妙な顔をして見ても、全然気にする必要はありません。同じような英語を毎日何度も繰り返してつぶやくことこそ、英語を母国語同様にする魔術的な方法なのです。このことを忘れないようにし、常に本書を携帯して参考にしてください。

(2) 発音を正確に行ってください。

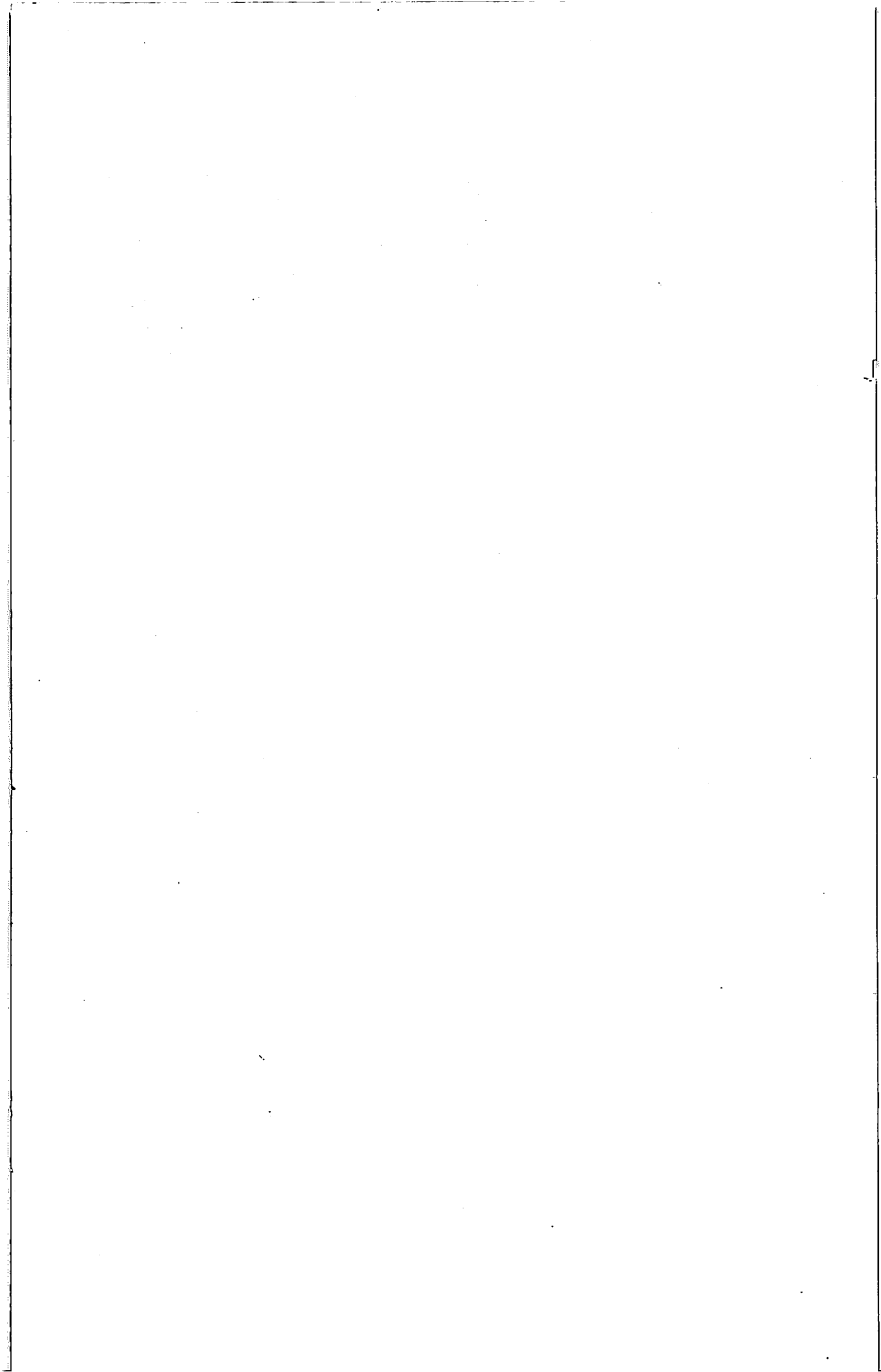
発音上の注意

日本人が誤りやすい発音は th 音と f, v, l, r の音です。たとえば Thank you. と言う場合、最初の “Tha” は日本語の「サ」ではなく、舌の先を突き出して、これを上の歯と下の歯で軽くかんだまま「サ」と言うつもりで息を吹き出すときの音が “Tha” です。This と言う場合も、“Thi” の音は日本語の「ジ」ではなく、舌の先を上下の歯で軽くかんで「ジ」と言うつもりで息を吹き出すときの音です。日本人でかなり英語のできる人でも意外に th 音を日本式にサシスセソまたはザジズゼゾの音でやっている場合が多く見受けられますが、これは英米人には舌足らずの赤ん坊の発音のように聞こえて、おかしいのです。f と v の音はいずれも上の歯で下唇を軽くかんで（というよりも下唇に軽くあてる程度）、息を吹き出す音で、f はにぎりませんが、v はにぎります。たとえば fan という語は、日本語の「不安」という文字を読むときのような音ではなく、上の歯を下唇に軽くあてたまま息を「フ」と吹き出しながら同時に「アン」と言うつもりでやると、fan の発音になります。（厳密に言えば、この「アン」の「ア」は「ア」と「エ」の中間音です。もっと厳密に言いますと、最後の「ン」の音は日本語の「ン」とは違って、「ン」と言ったあとで舌の先が上歯の裏側に軽くくっついてすぐ離れますから、かすかに「ヌ」という音が残ります。つまり「ファンヌ」というようになるのです。英語で最後が n の字で終わる単語は、例外なしに、このかすかな「ヌ」という音が残るように発音します。簡単なことなのに、どういうわけか日本でこの発音のできる人は、ほとんどいません。しかし重要なことですから、ぜひこの「ヌ」という音が、かすかに残るようなくせをつけてください）同様に van という語の場合も、上の歯を下唇に軽くあてて「ヴ」と言うようにつ

もりで息を吹き出しながら「アン」と言えば、van の発音になるのです。l の音は、日本語の「ル」とは全く異なり、舌の先を上を曲げ上げて、上の歯の根元あたりにくっつけたまま(離さないで)「ル」と言うつもりで声を出すと(この場合、息は舌の両側から流れ出る)、英語の l の音になります。たとえば last の場合、最初の“la”の音は、舌の先を上歯の根元あたりにつけておいて、すぐ離さないようにして「ラ」と言うつもりで声を出しますと英語の“la”音になります。r の音は舌の先を上を曲げながらも、l の場合と違って上の歯の根元や天井などにくっつけないで天井との間にわずかなすき間を作っておいて、「ル」と言うつもりで発音しますと、英語の r 音になります。たとえば rat という場合、舌の先を上を曲げて天井との間に少しすき間を作ったまま「ラ」と言うつもりで舌を急速におろしますと、この rat の“ra”の音になります。したがって英語の l と r の字のついた音は、いずれも日本語のラリルレロの音とは異なります。日本語のラ行の音は、舌が天井を軽くたたいて急速にはね下がる音ですが、l と r の音はそうでないことがこれでわかるでしょう。

なお、英語の発音をすべて日本語のカタカナであらわすのはまちがいだと言う学者先生方が多いのですが、ほんとうはそうでもないのです。たとえば desk (机) という音をカタカナで「デスク」と書いて、そのとおりに発音してもりっぱに通用します。ですから、自分でどうしても覚えられない単語があれば、一応カタカナで書いてみるのも決して悪いことではありません。だいたい、日本のカタカナは世界無比のすばらしい音標符号なのですから、これをもっと活用すべきだと思います。

ひとり言で
マスター
できる英会話



第 1 部

1. 寝床の中で

(朝, ユキオはふと目を覚まして, 床の中でつぶやく)

- | | |
|---------------------------------|---|
| 1. ああ, 眠いなあ。 | 1. Oh, I'm* sleepy. |
| 2. ゆうべは, よく寝たなあ。 でも, まだ眠たいや。 | 2. I slept like a log* last night, but I'm still sleepy. |

<参 考>

- ゆうべはよく眠れなかったなあ。気分が悪いなあ。

I didn't* sleep too well last night. I don't* feel very well.

★didn't, don't はそれぞれ did not, do not の略。

-
- | | |
|----------------------------------|--|
| 3. 体が動かないぞ。きのうの ゴルフが少しこたえたかな。 | 3. I can hardly move. Yesterday's golf game must have taken its toll on* me. |
| 4. 体のふしぶしが痛むぞ。起きるのはつらいなあ。 | 4. My joints are so sore. It's a chore* just to get up. |
| 5. いま何時かな。 | 5. I wonder what time it is*? |
| 6. おや, 時計が見当たらないぞ。 | 6. Hey, where's my watch? |

[Notes] ★I'm は I am の略。会話では, このように略してしゃべる。I am ~ と切り離して言うのは, I am tired. (私は疲れた) のように, ゆっくり強く言う場合。★sleep like a log は「丸太のように眠る」という意味から, 「ぐっすり眠る」と言うときに使うきまり文句。★take its toll on は「すり減らす」という意味。★chore は「雑用」という意味以外に「骨の折れるいやな仕事」という意味もある。★他人に尋ねる質問で「いま何時ですか」なら What time is it? というが, 自問自答のひとり言なら I wonder とまず言い, あとの語順が変わる。ただし他人に向かって話すときも I wonder で始めることがある。

第 1 部

7. 待てよ。たしかにここへおいたはずだけど...
8. とられたのかな? まさか!
9. でも、ほんとうにないぞ。紛失したのかな。
(手で枕元をあちこち探る)
10. おかしいなあ。
11. なんだ。こんなところにあったぞ。枕の下に隠れているじゃないか。
(時計を手にとって時刻を見る)
12. 6時50分。おおかた7時か。まだ少し早いな。よし7時まで寝よう。あと10分間。
13. 7時5分前。まだ5分ある。もう眠れそうにないが、7時になったら起きよう。
7. Wait a minute, now. I'm sure I left it here.
8. I wonder if someone took it? No, of course not.
9. It's really* not here. I wonder if I lost it.
10. That's funny.
11. Oh, I found it right here. It was hiding under the pillow.
12. Six-fifty. (It's) Almost seven. It's still early. I'll sleep until seven. Ten more minutes.
13. Five till seven. I've still got* five minutes, I probably* can't sleep anymore, but I'll get out of bed at seven.

[Notes] ★really は「ほんとうに」、「たいそう」という意味で、会話ではひんぱんに用いる。「たいそう」という意味の very は大体に否定の表現に使用することが多い。(例) I don't feel very well. (気分が悪いなあ)。★I've got は I have got の略。会話ではひんぱんに用いるからしっかり身につけておくこと。I have ~ (私は~持つ) のかわりに用いる。こは、I still have five minutes. と言ってもよい。★probably は「たぶん」。これもひんぱんに用いる。

(目をあけたまま天井を見つめて、つぶやく)

14. よし、きょうも一日精いっぱい働こう。誠実な謙虚な態度で人に接して、宇宙の一員として生きよう。万物に感謝をしよう。

14. I'll do my best today sincerely and humbly fulfilling my role as one member of this universe. I give thanks for everything.

15. ちょうど7時だ。よし起きよう。

15. Seven o'clock on the dot.* Okay, time* to get up.

2. 床を出る

1. カーテンを開いて窓をあけよう。

1. I think I'll* pull open* the shades and open up the windows.

(開いた窓から外をのぞく)

2. きょうはいい天気だ。空には一点の雲もないし、よく晴れ渡っているなあ。

2. What a beautiful day. There isn't* a cloud in the sky and it's sunny all around.

<参 考>

●きょうは天気が悪いなあ。雨が降るかもしれないぞ。

The weather looks bad today. It looks like rain.

●ああ、きょうは雨だ。朝からどしゃ降りだ！

Oh no,* it's raining. What a downpour!*

★望ましくないことなら最初に Oh no, と言う。「どしゃ降り」

を cats and dogs とはあまり言わない。

[Notes] ★on the dot は「(時間的に)きっかりと」の意味。on the nose とも言う。★time to～は It's time to～の略。★I think I'll～は「～しようと思う」の意で、I think that I will～の略。ひんばんに用いるきまり文句。★pull open の open は、この場合は形容詞。★isn't は is not の略。

第 1 部

- ああ、雨が降っているのか。だけど小雨だから、いずれやむか
もしれない。

Oh no, it's raining. But it's just sprinkling, so it'll
probably end in a little while.*

★in a little while は「間もなく」のきまり文句。

- ああ、きょうは雪が降っている。少し（だいふ）つもったな。

It's snowing out today. The snow has piled up a
little (a lot).

(時計を見る。時刻は 7 時 5 分を示している)

3. おっと、7 時を少しすぎた
ぞ。ぐずぐずしちゃいられな
い。さあ着物を着かえよう。

3. Uh-oh. It's past seven. I
can't waste any time. I'd
better* change clothes.*

3. 着がえ

(パジャマから部屋着への着がえを始める)

1. ええと、ズボンはどこにお
いたかな？ そうだ、洋服ダ
ンスの中だ。ゆうべ、部屋着
を全部この中に入れておいた
んだ。

1. Let's see*, where did I put
my pants? That's right,
they are in the closet. I put
all my clothes in there last
night.

(着かえながら、つぶやく)

2. きょうは、あったかい日だ
から、毛糸のセーターはいら
ないな。下着の長そでシャツ
だけでいいや。

2. It's warm today, so I don't
need my wool sweater. All I
need is my long sleeved
undershirt.

[Notes] ★I'd better は I had better~(私は~するほうがよい) の略。ひん
ぱんに用いるきまり文句。★clothes を日本人はよく [klou ðez] と言うが、こ
れは [klouz] と言う。close (閉じる) と同じ発音。★Let's see は Let us see
の略。「ええと」にあたる。長ズボンもパンツと言う。

〈参 考〉

- きょうは寒いから、毛糸のセーターを着なくちゃ。

It's cold today, so I'd better wear my wool sweater.

- うへー、寒いなあ。体がふるえるぞ。しっかり着込まないとカゼをひくぞ。

Ooh. It's freezing and I'm shivering. I'd better dress really warmly or I'll catch a cold.

(部屋着を着終わって)

3. これでよしと。さあ顔を洗おう。

3. Okay, that's it. Now to* wash my face.

4. 洗 顔

(洗面所に入って、水道の水を出す)

1. うーん、春とはいえ、水はまだ冷たいな。おや、せっけんがないぞ。ふろ場かな。

1. Woo. It may be spring, but the water's* still cold. Hey, where's* the soap? Maybe it's in the bath.

(ふろ場へ入る)

2. ああ、ここにある。せっけんがだいふ小さくなったな。そろそろ新しいのを買ってこなくちゃいけないな。

2. Here it is, but the soap's gotten* really small. It's about time to buy some new soap.

[Notes] ★Now to～は Now I'm going to～または Now I have to～の略。ひとり言をいう場合の代表的なきまり文句。★water'sは water is, where'sは where is の略。★the soap's gottenは the soap has gotten の略。この場合の gotten の原形 get は become (～になる) の意味。

第 1 部

(歯ブラシに歯みがきをつける)

3. 歯ブラシも古くなったし、
タオルもぼろになってきた。
何もかも新しいのと取り替え
なくっちゃ。

3. My toothbrush is getting
old* and the towel is get-
ting worn out. Everything
has to be replaced.

(ひげそり用ブラシを熱湯にひたして、せっけんをとく)

4. 熱い湯だとせっけんがよく
とけるなあ。あったかい春に
なっても熱湯はやはり必要だ。

4. The soap really lathers
well when the water's hot.
Even with the warm spring
weather, I still need hot
water.

(ひげそりを始める)

5. このかみそりも、切れ味が
悪くなったな。きょうはこれ
でいいや。あす、新しい刃を
1枚買おう。

5. This razor doesn't* cut
very well. That's* enough
for today. Tomorrow I'll
buy a new blade.

(顔をそり終わる)

6. さあ、こんどは顔を洗う番
だ。ついでに頭髪も洗おうか
な。

6. Now to wash my face.
While I'm at it, I might as
well* wash my hair, too.

(顔をふいてクリームを塗る)

7. ああ、さっぱりした。いい
気持ちだ。

7. Aahh. I feel refreshed.
What a good feeling.

[Notes] ★get old は「古くなる」。「～になる」という場合は become よりも get のほうが口語。become だとかたい感じになる。★doesn't は does not, That's は That is の略。★might as well は「～するほうがよい」というきまり文句。「どうせ～するなら」という意味が含まれている。

(鏡を見ながら、くしを入れる)

8. 一日の始まりは、まず顔と頭を美しくととのえることにあり、か。

8. In starting a new day, the first thing to do is to put your face* and hair in order.

5. 朝食

(食堂へ入る。妹のミチコが食事の支度をしている)

— やあ、おはよう。

— Morning*.

— お兄さん、おはよう。ゆうべはよく眠れたの？

— Good morning, Yukio.* How'd* you sleep last night?

— うんぐっすり寝たよ。きのうのゴルフが少しこたえたようだ。

— I slept like a log. I think yesterday's golf game took its toll on me.

— 何事も、ほどほどにしなくちゃだめよ。

— You should do everything in moderation.

— そうだな。これからは気をつけるよ。新聞は？

— You're right.* I'll be careful from now on. Where's the newspaper?

— まだとってきてないわ。

— I haven't gotten it yet.

— よし、ぼくがとってこよう。

— Okay, I'll go get* it.

【Notes】★your face の your は「あなたの」ではなく、この場合は一般の人間をさす。ひとり言の場合でも you とか your と言う。これは英語の特徴。★親しい間柄では Good morning を略して、Morning とだけ言ってもよい。★欧米では、兄弟姉妹同士なら、相手の personal name で呼ぶ。したがって「お兄さん」と呼びかけるのに Brother とは言わない。★How'd は How did の略。★You're は You are の略。★「とってくる」は get と言う。take と言うと「持っていく」という意味になる。go get は go and get の略で会話用語。

第 1 部

(食事を始めながら、つぶやく)

— けさのベーコンは、おいしいな。この卵の目玉焼きもなかなかいいぞ。この熱いコーヒーも、こたえられないや。朝はコーヒーに限る。これで元氣百倍だ。

— The bacon this morning is really good. So is the fried egg. This hot coffee is too good for words.* There's nothing better than* coffee in the morning. I feel full of energy.

(妹に呼びかける)

— ミチコ、あの棚の上にあるウイスキーをとってこないか。

— Michiko, can you get me* the whiskey on top of the cabinet?

〈参 考〉これは妹のような親しい人や友人に頼むときの言い方で、列車や飛行機の棚においた自分の荷物を見知らぬ人やスチュワーデスなどにとってくれと頼む場合は次のようにていねいに言う。

●すみませんが、棚の上のその荷物をとってくださいますか。
いや、その荷物ではありません。その下(右側)においてある荷物です。そうそう、それです。どうもありがとうございます。
I wonder if you would mind getting that package on top of the cabinet* for me. No, not that one. The package underneath (to the right). That's it. Thank you very much.

★汽車の網棚は rack と言う。

— あら、朝からウイスキーを飲むの？

— You mean you're going to drink whiskey in the morning.

【Notes】★too good for words は「よすぎて言葉で言いあらわせない」の意味。★There's nothing better than～は「～よりもよいものはない」。★「とってくれ」は get me～と言う。

— 違うよ。コーヒーに少し入れるんだ。

— まあ、おかしな人。コーヒーにウイスキーなんて、聞いたことがないわ。はい。

(コーヒーにウイスキーを少し入れて飲む)

— ありがとう。ああ、うまい。これはいい。きょうは学校へ行くのかい？

— もちろんよ。どうして？

— いやに落ち着いているからさ。

— きょうの授業は10時半からなの。急ぐ必要はないわ。

— そうか、学生時代はいいなあ。会社勤めは忙しくてたいへんだ。パンが足りないや。もっとパンがあるかい？

— あるわ。あと1枚？ それとも2枚？

— No, I want to put a little in my coffee.

— You're really weird.* I've never heard of putting whiskey in coffee. Here.

— Thanks.* Umm, delicious. This is really good. Are you going to school, today?

— Of course. Why do you ask?

— Because you're awfully calm.

— I don't have class until 10:30, so there's no need* to hurry.

— That's right. Students have it the best. Working in a company keeps you so busy. There's not enough bread. Any more bread?

— Yeah,* there's still some bread. One piece? Two pieces?

[Notes] ★weird は「不気味な」、「異様な」という意味だが、会話では「奇妙な」、「おかしな」の意味でも用いる。★親しい間柄では **Thank you** とわずに **Thanks** だけでもよい。★there's no need to～は「～する必要はない」というきまり文句。★Yeah (ヤーと言う) は **yes** の砕けた形。親しい間柄で用いる。

第 1 部

— そうだな。2枚くれないか。

— いいわよ。そのかわり残さないで、みな食べてよ。

— よしよし。

— Let's see. How about* two pieces?

— Sure, only make sure* you eat both pieces. Don't leave anything.

— Okay, okay.

6. 新 聞

(新聞を読みながら)

1. おお、また円が上がったじゃないか。1ドル195円台に突入だって？ これじゃ、輸出業者は大変だろうなあ。うちの輸出部が四苦八苦しているのも当然だ。

2. おや、19才の男が若い女性を暴行して殺したぞ。なんたることだ！ もっと平和な社会にならないものかなあ。

3. 不況とはいえ、どうもいやな記事が多いなあ。

1. Oh, the value of the yen has gone up again. It's 195 yen to the dollar. The people in the export business must really be having a hard time. It's no wonder* the men in our export department are in such agony.

2. Hey, a nineteen year old man raped and killed a young woman. How appalling!* Why can't the world be a more peaceful place?

3. Even though we are in the middle of a recession, there are still too many depressing articles.

[Notes] ★How about～は「～はどうかね」という意味の砕けた言い方。★only make sure は「確かに～しさえすれば」の意。★It's no wonder は「当然だ」。★appalling は「ぞっとするような、すさまじい」の意味だが、会話では「とんでもない」の意味に用いる。

4. やたらとマンションだの—
戸建ての家だのと不動産の広
告が多いなあ。この不況では
簡単に売れないだろうなあ。

5. 明るい記事もあるぞ。盲目
の少女が普通高校を卒業して
大学の入試に合格だって。す
ばらしいことだなあ。よく努
力したもんだ。

(広告を見て)

6. ほう、Q出版社がいい辞書
を出したなあ。日英会話辞典
か。これはよさそうだ。こん
ど書店へ寄って見てみよう。

4. There are so many ads* for
mansions and homes. It
must not be easy to sell real
estate in this economic
depression.

5. Here's something bright. A
blind girl graduated from a
regular high school and
passed the entrance exam*
for college. That's great.
She really worked hard.

6. Hmm... Here's a good
English-Japanese conver-
sation dictionary from* Q
Publishing Company.
Looks* pretty good. I think
I'll stop by* the bookstore
next time and take a look.

【Notes】★ad は advertisements の略。★exam は examination の略。会話
用語。★from Q は「Qから出た」の意味をもつ。★Looks は It looks の略。
★stop by はアメリカ英語で「立ち寄る」の意。ひんばんに用いる。

第 1 部

(週刊誌の広告を見て)

7. なんだこの週刊誌は。くだらない記事が多いようだ。相も変わらず有名人のゴシップか。こんなものがよく売れるもんだな。いや、こんな内容だからこそ売れるのかもしれないぞ。でも、ぼくは読む気はしないな。

(映画の広告欄を見て)

8. ほほう, “The Apartment” やってるじゃないか。ジャック・レモンのとぼけた顔と、美人じゃないんだがシャーリー・マクレーンのなんともいえない魅力。よし、これはもう一度見よう。S 映画館だって? 電話をかけて場所を聞いてみよう。いつまでやっているのかな? これも聞いてみよう。

7. What the hell is this? This weekly magazine is so full of trivia.* The usual gossip about celebrities.* It's a wonder this magazine sells* at all. No, it probably sells because of its content. In any case*, I have no wish to read any of these magazines.

8. Hey, “The Apartment” is showing. Jack Lemmon with that blank look on his face and Shirley MacLaine, no beauty, but attractive nevertheless. I've got to* see it again. It's playing at the S Theater. I'll call and find out where it is. I wonder how long it's playing. I'll ask about that, too.

[Notes] ★trivia は「つまらないもの」。★celebrity は「有名人」。★この場合の sell は「売る」ではなく「売れる」。★in any case は「いずれにしても」の意味のきまり文句。★I've got to は I have to~(私は~しなくてはならない)の会話的言い方。アメリカ人がこれを早口で言うとき「アイガラ」と聞こえる。ただしこのまねをしないように。

(写真展の広告を見る)

9. おや、Nサロンでアオヤマ氏の個展があるんだな。うん、これもよさそうだ。会社の昼休みに行ってみるか。あの人は日本で有名な写真家だからなあ。見ごたえはあるだろう。

9. Aoyama's putting on a one man exhibit of his photographs at the N Salon. This looks good, too. I think I'll drop by* during lunch hour. He's a famous photographer in Japan. It's worth seeing.*

10. どうも、これというすばらしい記事がないなあ。暗い世の中だ。でも、ぼくは悲観しないぞ。明るく生きよう。

10. There isn't any item that's especially great. What a dark world. But I'm not going to let it get me down.* I'm going to be optimistic.*

(時計を見る)

11. おっと、いけない。もう7時45分だ。出かける支度をしなくちゃ遅れるぞ。

11. Uh-oh. It's already 7 : 45. I'd better get ready* to go or* I'll be late.

(新聞をたたみながら)

12. 夕方、帰ってからまた新聞を読もう。

12. I'll look at the paper again when I come back in the evening.

【Notes】★drop by は drop in とも言う。「立ち寄る」の意。★worth-ing は「～する価値がある」。★let it get me down は「それによって自分をダウンさせる」。★optimistic は「楽観的」。★get ready は「支度をする、用意をする」のきまり文句。★or は「さもないと」。

第 1 部

7. 身支度

(洋服ダンスの戸をあけながら、つぶやく)

- | | |
|---|--|
| <p>1. さあ支度にかかるか。きょうはどの服にしようかな。もう春だから、この化繊の青い服を着るか。</p> <p>2. そうすると、シャツもこの薄青のやつにしよう。グレーのシャツでは似合わないものな。</p> <p>3. ネクタイはこの赤の斜め筋の入ったのがいいだろうな。これならよく似合うぞ。</p> <p>4. きょうはあったかい日だから、長いアンダーウェアは不要だ。下着は半そでシャツにパンツだけでいいだろう。</p> <p>5. さあ、早くしないと会社に遅れるぞ。急げ、急げ。</p> | <p>1. Okay, now to get ready. I wonder what I should wear today. It's already spring, so maybe I'll wear this blue outfit* made from synthetic material.</p> <p>2. In that case, I guess I'll* wear this light blue shirt because the gray one won't match.</p> <p>3. The red tie with the diagonal stripes will match well.</p> <p>4. It's warm today, so I won't need my long underwear. A short sleeved undershirt and shorts will probably do just fine.</p> <p>5. I'd better hurry or I'll be late for* work. Hurry up, hurry up.</p> |
|---|--|

【Notes】★outfit は「用品や道具一式」を意味するが、ここでは背広上下をさす。★I guess I'll は I think I'll と同じ意味で、よく使われるきまり文句。★「学校に遅れる」なら be late for school と言う。

(服を着ながら)

6. この服も古びて、少し小さくなったなあ。ぼくが太ってきたんだな。そろそろ新しい春物の服を買うかな。

6. These clothes are getting old and a little tight, too. I guess I'm putting on weight. It's about time to buy some new spring clothes.

7. カフリンクスも別なものに取り替えることにするか。ロサンゼルスで買った、あの銀のカフリンクスにしよう。

7. I think I'll change my cuff links, too. How about those silver ones I bought in Los Angeles?

(タンスの引き出しをあけて、小箱をとり出す)

8. おや、ないぞ。たしかにこの中に入れておいたのに。

8. Hey, they're not here. I was sure I put them in here.

9. どこへしまいだんだのかな。テレパシーであててみよう。

9. Where did I put them? Maybe the answer will come to me through telepathy.

(目をつむって、じっと考える)

10. そうだ、思い出した。あれは書斎の机の引き出しに入っているはずだ。きっとそうだ。

10. That's right. Now I remember. They should be in the desk in the study. I'll bet* that's where they are.

(隣の書斎へ入って、机の引き出しをあける)

11. ほら、あるじゃないか。テレパシーがあたったぞ。

11. See, here they are. The telepathy worked.

[Note] ★I'll bet は「きっと」。

第 1 部

12. それに時計, 財布, 定期券, ハンカチ, ドアのキー, ちり紙 — みんなそろっているな。
12. Watch, wallet, train pass, handkerchief, door key, tissue — everything's all right here.
13. かばんはここにある — と。中身はいつものとおりだ。このかばんも型がくずれたな。
13. Here's my briefcase with everything inside just as it always is. This briefcase is losing its shape, too.
14. さあ, 何もかもそろったぞ。服を着かえたんだから, 持ち物を忘れないように身につけなくちゃ。
14. Okay, all set. Now that* I've changed clothes, I'd better be careful not to forget anything.
15. よし, これで支度はすんだ。待てよ, ちょっと電話で天気予報を聞いてみよう。
15. All right, I'm ready to go. Wait a minute, now. I'd better call and find out* the weather forecast.
- (受話器をとり上げて耳にあてる)
16. 朝は晴れるが, 午後は曇って, 夕方は雨になるかもしれないと言っているぞ。傘を持っていこうかな。
16. Fair in the morning, cloudy in the afternoon and a chance of rain in the evening. I think I'll take my umbrella.
17. 長い傘では通勤途中でまだまだ。折りたたみ傘にしよう。どこにあるかな。
17. A long umbrella is a bother in the train. I'll take my folding umbrella. I wonder where it is.
18. ああ, あった。これがあればだいじょうぶだ。かばんの中へ入れておこう。
18. Here it is. If I have this, I'm safe. I'll put it in my briefcase.

[Notes] ★Now that は「～したからには」。★find out は「発見する, (事実を) 知る, 悟る」の意。know よりも意味が強く, 「調べて知る」の意。

19. さあ出発だ。

(台所にいるミチコに声をかける)
—行ってくるよ。あとで外出する
ときは戸締まりを厳重にしてお
いてね

19. I'd better get going.*

—I'm leaving now. Be sure
to lock up if you leave
here.

8. 家を出る

(家を出て、バス停へ向かう)

1. ああ、いい天気だな。太陽
はさんさんと輝いて、万物が
躍動している感じだ。生きて
いるということは、すばらし
いことだ！

1. What great weather. The
sun is shining brightly and
everything seems to be full
of life. It's great to be alive!

2. こんないい天気なのに、夕
方は雨が降るなんて、ちょっ
と信じられないな。

2. With such great weather,
it's hard to believe that it's
going to rain later on.*

(バス停でバスを待ちながら)

3. 8時を過ぎた。早くバスが
来ないと遅れるぞ。

3. It's past eight. If the bus
doesn't hurry up, I'll be late.

4. なかなかバスが来ないな。
どうしたんだろう？ 事故で
もあったのかな。

4. The bus is late. I wonder
what happened. Maybe
there was an accident.

(しきりと時計を見る)

5. これはいけない。ほんとう
に遅れちゃうぞ。タクシーに
乗ろうかな。

5. This is pretty* bad. I really
am going to be late. I'll
catch a cab*.

6. そのタクシーも来ないぞ。
けさはツイてないな。

6. No taxis either. I'm really
out of luck this morning.

[Notes] ★get going は「出かける」の会話用語。何かの動作を始めるときにも言う。★later on は「あとになって」。★この場合の pretty は「かなり」の意。これも会話でよく用いる。★cab は「タクシー」。taxi のかわりによく使う。

第 1 部

(バスがあらわれたのを見て)

7. あ、バスが来た！ やっと来たぞ！ 助かった。これに乗ろう。

(近づいてくるバスを見ながら)

8. おや、えらく込んでいるじゃないか。もしかすると乗れないかもしれないぞ。

(バスは停留所に止まらないで通過する)

9. ああ、行っちゃった！ 超満員だ。あれじゃ止まるはずはないや。ええいちキショウめ！ いやいや、バスを恨んでもしかたがない。ぼくがもっと早く家を出てればよかったんだ。

(次のバスがまたあらわれる)

10. あ、またバスが来た！ こんどはすいているようだ。よし、これなら乗れるぞ。

7. Oh, here comes the bus!*
Finally! I'm saved. I've got to get on it.

情

8. It's really crowded. I may not be able to get on*.

9. Hey, it didn't stop! It was packed.* No wonder the bus didn't stop. Damn! Oh well, it's no use getting mad at the bus. I should have left home earlier.

10. Here comes another bus.
It's not crowded so I can get on.

9. バスに乗る

1. うん、車内は込んでいないな。これで一安心だ。

1. Good, there's plenty of room inside. What a relief.

[Notes] ★この場合 **the bus** というふうに **the** が必要なのは、自分が乗ろうとしている特定のバスを意味するから。「そこにバスがいる」というふうに、自分が乗らないで、ただ目に見える光景を言う場合は **There is a bus.** と **a** をつける。
★**get on** は乗り物などに「乗る」の意味で、乗り込むときの動作をあらわす。乗っている状態は **ride**。★乗り物などが「超満員」というのは **packed** と言う。

2. 渋滞でもたついているな。
早く走ってくれないと、間に
合わなくなるぞ。

3. いや、きょうは、わりとス
ムーズに走っている。

(バスは駅前広場へ入る)

4. さあ、やっと駅に着いた。
早くバスをおりよう。

(乗客がもたついて、さっさとおりないので、いらいらして小声でつぶやく)

5. 皆さん、急いでおりてくだ
さい。時間がないんです。こ
の私の気持ちを理解してくだ
さいませんか。

(バスをおりる)

6. やっとバスをおりたぞ。大
急ぎで駅のホームへ出よう。

(売店の前でふと立ち止まる)

7. そうだ、仁丹が少なくなっ
たんだ。ひとつ買おう。

2. This traffic jam* is holding
the bus up, but if it doesn't
hurry, I'll be late.

3. The traffic's flowing pretty
smoothly today.

4. The station at last. I've got
to get off* this bus in a
hurry.

5. Hurry up and get off,
everyone. I'm running out
of time. Please have some
sympathy and under-
standing for my situation.

6. Finally off the bus. I really
have to rush to the plat-
form.

7. Oh, I'm almost out of
Jintan. Better* stop and
buy another pack.

* [Notes] ★traffic jam は「交通マヒ状態」。★get off は乗り物などから「お
りる」。★Better は I'd better の略。

第 1 部

(売店の女性に呼びかける)

8. 仁丹を一個ください。それ
とちり紙を一束。あ、ついで
にハンカチを一枚。

9. 全部でいくらですか？ え？
390円？ じゃ、これ、400円。

(駅へ向かう)

10. さあ、急がなくちゃ。

8. A pack of Jintan, please.
Also a pack of tissue paper.
While you're at it, could
you get me one handker-
chief, too?

9. How much is that alto-
gether? What? 390 yen?
Okay, here's 400 yen.

10. Got* to hurry.

10. 電車に乗る

1. ああ、けさも人が多いなあ。
東京にはよくもこんなにおお
ぜいの人間が住んでいるもの
だ。

2. 電車もどうせ超満員なのだ
ろう、きっと。うまく乗れれ
ばいいが。

3. さあ、電車が入ってくるぞ。

(はるかかなたに電車が来るのを見て)

4. や、来た！ うまく乗れま
すように。

1. It's crowded this morning,
too. It's amazing that so
many people can live in
Tokyo.

2. No doubt* the train will be
packed, too. If I can just get
on all right.

3. Here comes the train.

4. Here it comes! Here it
comes! If only* I can get on
all right.

[Notes] ★Got to は I've got to の略。★No doubt は「きっと」。I'm sure
と言ってもよい。★If only は「～しさえすれば」、「～ならよいけど」。

(車内へ入る)

5. 相変わらず押し合いへし合いだ。わーっ、こりゃかなわない。なんとかして通路のまん中あたりへ行こう。
6. ああ、やっと楽になった。ここなら落ち着いて立っていられるぞ。
7. それにしても車内は蒸し暑いなあ。全身、汗びっしょりだ。だれか窓をあけないかな。
8. ほう、一人、窓をあけたぞ。気がきいてるなあ。ああ、いい風が吹き込んでくる。
9. ぼくは人一倍暑がり屋だから、困るんだ。夏が思いやられるなあ。
5. There's pushing and shoving as usual. Wow! This is too much.* Somehow I have to get to the middle of the aisle.*
6. I can finally relax. This is a good spot to stand.
7. It's really hot and sticky in here. I'm sweating all over. I wish someone would open a window.
8. One person with sense has just opened a window. That breeze feels good.
9. Hot weather really gets to*me. I really dread the summer.

11. 車内の広告

1. あ、S社がまた新しいラジオを出したな。モデルチェンジをただけでどうせ中身は変わらないのだろうが——。でも、このデザインはスマートだ。
1. S's* put out another new radio. It's probably the same radio only in a different model, but I have to admit the design is really smart.

【Notes】 ★This is too much. は「あんまりだ」、「ケツサクだ」、「すごい」という意味のきまり文句。★aisle は劇場や電車などのまん中の通路。s を発音しないで [ail] と言う。★この場合の get to は「こたえる」の意。★S's は S has の略。

第 1 部

2. なになに? 白いウイスキーだって? ハハハ、まるでしょうちゅうみたいだな。ウイスキーの味がするのかな?
3. あのカメラの広告のデザインは、まずいな。あれではモデルの女が強調されすぎて、カメラが目立たない。そのものずばりで、カメラの写真だけを大きく入ればよかったろうに。惜しいことをしたもんだ。
4. ほう、このデザインはいいぞ。黒バックに白のデザインか。すっきりしてるなあ。黒と白の2色だけだから、かえって目立つんだ。単純さの勝利だ。
2. What's this? White whiskey? Ha, ha, ha! It's almost like shōchū. I wonder if it tastes like whiskey.
3. The design of that camera advertisement is not good at all. There's too much emphasis on the model and the camera doesn't stand out* enough. The picture of the camera should have been bigger. It's a shame.*
4. Say, this design is quite nice. A white design on a black background. It's refreshing and stands out because there are only two colors. Simplicity wins out over complexity.

12. 電車をおりる

(どこかで停車した電車の窓から外を見る)

1. おや、ここはどこだろう? 何駅かな? 人が多くて目印がよく見えない。アナウンスメントも聞きそこねたし——。
1. Hey, where are we? I wonder what station this is. There are so many people that I can't see any landmarks. I couldn't even hear the announcements.

[Notes] ★stand out は「目立つ」。ほかに「どこまでも抵抗する」、「突き出る」、「介入しない」などの意味がある。★shame は「残念」という意味の会話用語。

2. まだ両国駅じゃないだろうな。
3. あ、ここは浅草橋駅だ。次は秋葉原か。おりる用意をしてくちゃ。
4. しかし、ニューヨークの地下鉄にくらべて、東京のラッシュアワーの電車はすごく込むなあ。
5. 人間が多すぎるのか、輸送機関が不十分なのか。両方かもしれないな。
6. さあ、秋葉原へ着いたぞ。ここでおりて電車を乗りかえよう。
7. 相変わらず大混雑だ。まるで人の海だ。
(外人女性とぶつかる)
8. ごめんなさい。だいじょうぶですか？
9. とにかく人が多いんだから、他人にぶつからないで歩くだけでもたいへんだ。
2. We'd better not still be at Ryogoku Station.
3. Oh, Asakusabashi Station. The next stop* is Akihabara. I'd better get ready to get off.
4. Compared to the subways of New York, rush hour trains in Tokyo are really crowded.
5. Either there are too many people or too few trains. Maybe it's both.
6. Akihabara Station at last. Now to get off and change trains.
7. As usual, it's packed. it's almost like a sea of people.
8. Excuse me.* Are you all right?
9. In any case, there are so many people that it's almost impossible to walk without bumping into anyone.

【Notes】★stopは「停車場」，「停留所」。★日本人は「ごめんなさい」と言う場合，動作を行う前に Excuse me. すんだあとで I'm sorry. というふうに言うのだと考えている人が多いが，すんだあとで Excuse me. と言っても差し支えない。どちらを用いてもよい。

第 1 部

10. おや、このプラットホーム
はきたないな。どういうわけ
だろう？ だれかが吐いたの
かな？
11. ここも、どうせ電車が込ん
でいるのだろうな。
12. あ、山の手線の電車が来た
ぞ。よし、これに乗ろう。
13. わあーっ、すごく込んで
じゃないか！ 乗ればいい
がー。
14. あいたたた。痛い、痛い。
こう押されちゃかなわないよ。
体が押しつぶされそう。
15. これはまさに通勤地獄だ。
これさえなければ日本は住み
よい国なんだがなあ。
10. This platform is dirty. I
wonder why? Maybe some-
one threw up.*
11. The train is probably
crowded in this spot as
well.*
12. Here comes the Yamanote
Line. Now to get on.*
13. Oh no! It's packed! I hope
I can get on.
14. Ouch, ouch. I can't take all
this pushing. It feels like
I'm being smashed.
15. This is without a doubt com-
muting hell. If it weren't
for this, Japan would be a
nice place to live.

13. 駅から会社まで

(東京駅から丸の内側の外へ出る)

1. やっと解放されたぞ。さあ、
会社へ急ごう。
1. I'm finally saved. Now to
hurry to work.*

[Notes] ★threw up は throw up の過去。「投げ上げる」、「押し上げる」、「中
止する」のほかに「吐く」の意味もある。★as well は「なお」、「おまけに」の
きまり文句。★「これに乗ろう」の「これに」は英語で言う必要はない。★「会
社へ」という場合、to my company とは言わないで to work (仕事へ) と言う。

(群衆とともに歩きながら)

2. おおぜいの人々がそれぞれの職場へ行く。みんな環境が違
うし、運命も違う。だが、一
つだけ同じことがある。だれ
もが一生懸命に生きようとし
ていることだ。
3. 人間は何ゆえに創造され、
何ゆえに生き、何ゆえに死ぬ
のか？
4. このおおぜいの人々は生き
るための真の目的を考えてい
るのだろうか？
5. 人間とは何か、ということ
を考えているのだろうか？
6. 明朝の、この人の流れは、
けさと同じではない。
7. そして100年後には、この数
千名の人々は一人残らず、地
上から姿を消しているはずだ。
この世界を去って、どこへ行
くのだろうか？ ぼくにもわか
らない。
- (ユキオは駅前広場を歩きながら、つぶやく)
8. 太陽はさんさんと輝き、天、
われらを祝福したもう——か。
2. Everyone is going to his or
her place of work. Their
environments and their
destinies are all different,
but they have one thing in
common. They're all trying
to survive as best they can.
3. It makes you wonder why
man is created, why he
lives, and why he dies.
4. I wonder if all of these
people ever think about
their real purpose in life?
5. Are they wondering what
man really is?
6. Tomorrow morning, this
stream of people won't be
the same as today.
7. A hundred years from now
not a single one of these
several thousand people
will remain. Where will
they go? It's not for me to
know.
8. The sun is shining brightly.
Heaven has bestowed upon
us her blessing.

第 1 部

(腕時計を見る)

9. ありゃ、もう 9 時だ。しまった！ 間に合わないぞ。走ろう。

9. Oh no,* it's already nine o'clock. I won't make it in time.* I'd better run.

(小走りに走り出す)

10. 急げ、急げ。どうせ遅刻だろうが、なるべく早く行ななくちゃ。

10. Hurry up, hurry up. Even though I'm going to be late anyway, I still have to hurry.

(ビルに走り込んで、エレベーターの前で)

11. どのエレベーターに乗ろうかな？ そうだ、あのエレベーターに乗ろう。

11. I wonder which elevator I should take? I know, I'll take that elevator.

(エレベーターに飛び込む)

12. この調子だと、事務所のタイムレコーダーのカードは 9 時 4 分と記入されるだろうな。

12. If I keep going at this rate, I can punch in at four minutes after nine.

(事務所のタイムレコーダーにカードをさし込む)

13. 5 分間の遅れか。しかたがないや。けさの最初のバスに乗りなかったんだものな。

13. I'm five minutes late, but I couldn't help it. After all, I missed* the first bus this morning.

[Notes] ★「しまった！」は最初の No であらわす。★make it in time は「間に合う」のきまり文句。★miss は「乗りそこねる」。

14. 打ち合わせ

(ユキオは海外広報部で働いている。部長はアメリカ人のジェームズ・クラーク氏)

— 部長、おはようございます。
遅れてすみません。最初のバスに
乗れなかったものですか
ら。

— Good morning, Mr.
Clark.* Sorry* to be late,
but I missed the first bus.

(クラーク部長は微笑して答える)

— いいよ。気にするな。よくあ
ることだ。東京は通勤地獄の
都市だからな。

— Okay. Don't worry about
it. It happens all the time.
After all, Tokyo is com-
muter hell.

(海外向けの英文カタログ作製の仕事で、ユキオは部長にたずねる)

— 私の担当原稿のメ切は4月
10日でしたね?

— My deadline was the 10th
of April, wasn't it?

— ええと、待てよ。そうだな、
4月10日だが、2～3日は遅
れてもいいよ。精密機械関係
の原稿が10日までに間に合わ
ないから、どうせ10日には原
稿が全部そろわないんだ。

— Let's see. Wait a minute.
You're right. The deadline
is April 10th, but it doesn't
matter if you miss it by 2 or
3 days. The papers for the
precision machine won't
make the deadline, so all of
the papers won't be in order
by the 10th anyway.

— まあ、10日までにはなんとか
やりましょう。

— Well, I'll see what I can
do* by the 10th.

[Notes] ★日本の会社では上司をだいたいに肩書きで呼ぶが、英米では名前で呼ぶのがふつう。★Sorry は I'm sorry. の略。親しい人にはこのように略してもよい。★see what I can do は「なんとかする」のきまり文句。

第 1 部

— 早いに越したことはないな。
だが、無理をするなよ。

— Well, the faster the better,
but I don't want you to
push* yourself.

15. 仕 事 (1)

(机に向かいながら)

1. さて、きょうは、どの仕事
から始めようかな。

1. Now then, where do I start
from?

(机の上の書類や原稿などをひっくり返しながらか)

2. そうだ、カメラ関係の原稿
にまだ目を通してなかったな。
よし、それから始めよう。

2. Oh yeah, I haven't looked
over* the papers for the
camera. I guess I'll start
from there.

3. この原稿はカメラ輸出の第
3課から回ってきたものだ。
おや、書類がついているぞ。
なにに? 「この原稿には
なるべく手を入れないで原文
を生かしてください」って?

3. These papers came from
Section 3, the camera
export section. The docu-
ments are here. What's
this? "Please try to rewrite
as little as possible, leaving
the wording* just as it is."

4. ダメだよ。こちらの手で
ちゃんと書き直さないと、この
ままでは使いものにならない
んだ。

4. No, no... I'll have to fix this
up,* because as it stands,
we won't be able to use it at
all.

5. では、じっくりと原稿を読
んでみることにするか。

5. Well now, I guess I'll take
a long, careful look at this
draft.

【Notes】★push は「無理をする」の意。★look over は「目を通す」。この場
合の paper は「書類」、「原稿」。★wording は「言葉による表現」。★fix up は
「修理する」、「手入れをする」、「整頓する」、「準備する」、「手配する」などの意。

(原稿を読みながら、つぶやく)

6. おや、この部分はおかしいな。N社のPQ型カメラが35,000円で、A社のS型カメラが30,000円ばかりだ。それなのにS型カメラのほうが優秀であるかのごとく表現してある。実際はPQ型の性能がすぐれているのに――。

(しばらく考えて)

7. あ、そうか、わかった！ この英文はきっと日本人社員が書いたんだ。それで、表現の仕方を誤ったんだろう。
8. よし、この部分は書きかえよう。このbetterという語のかわりにsuperiorを入れて、この部分は削除しよう。
9. このhigh quality (高品質) という語はPQ型の(解説文の)この個所に入れたほうがよさそうだ。
10. それにしても、どうもうまい文章にならないな。思い切って書き方を変えてみるか。

6. Hey, this part sounds a little funny. The PQ camera put out by N is 35,000* yen and the S camera from A is only 30,000 yen. In spite of that, the S camera is made to seem superior, when the PQ camera is actually much better.

7. Now I see. This English was probably written by a Japanese. That's why* this expression is wrong.

8. This needs changing. I'll replace "better" with "superior," and erase this part.

9. "High quality" would sound better here in the passage about PQ.

10. It still doesn't sound right. Maybe I should change the wording completely.

[Notes] ★35,000は thirty five thousand と読む。★That's why は「だからこそ」。

第 1 部

(シャープペンをおいて、ひたいに手をあてる)

11. ええと —, どういうふう
に書けばいいかなあ。「A 社が
誇る小型軽量のスナップ専用
機。失敗のない美しい写真が、
だれでも簡単に写せます」は、
どうだろう。
11. Hmm... How should I
word* this? "A company is
proud to introduce a brand
new lightweight camera,
perfect for taking snap-
shots. Now anyone can
take beautifully flawless
photographs." How is that?

(また考える)

12. どうもまずいな。「失敗のない —」以下はバカチョンカメラ宣伝のきまり文句だ。この部分を削除して、そのかわりに「速写性抜群」とやるか。
12. It's still no good (または not any good). "beautifully flawless..." These words are in every two-bit* camera ad. I'll erase this and change it to "Great snapshots."
13. そうだ、そのほうが簡潔で、力がある。よし、それにしよう。
13. That's it. It's concise, to the point,* and has more punch. We'll* go with this one.

(書き直して)

14. さあ、これでよし、と。
14. Okay, that's it.
15. そのほかにも、おかしな部分がまだあるはずだ。徹底的に目を通して、完全に仕上げなくちゃ。
15. There should be other parts that need rewriting. I've got to give this a thorough going over and a complete touch.

[Notes] ★word は動詞で「言葉にあらわす」という意味。★two-bit は「安物の」、「価値のない」。★to the point は「要領を得た」、「適切な」。★We は会社を主体に考えて「われわれは」と言ったもの。

16. おや、ここもおかしいぞ。

この文章はどうも意味がわからないな。S社の製品は優秀だと言おうとしているらしいが、文章が支離滅裂だ。これも日本人が書いた英文だな、きっと。

17. わかった。これを書いた人は前置詞の用法をまちがえているんだ。日本人は英語の前置詞は苦手らしいな。

16. Hey, this sounds funny.

The message in this phrasing is really hard to understand. It would seem that they're trying to say how superior S's product is, but the language is incoherent. I'll bet this was written by a Japanese, too.

17. I see now. The person who wrote this didn't know how to use prepositions. English prepositions must be difficult for Japanese.

16. 日本人の英語

(手を休めて、考える)

1. それにしても日本人は英語がへただなあ。一流大学を出た、かなり教養のある人でも英文が満足に書けないんだ。どういうわけだろう。

2. そういうほくだって、日本語はあまりうまくないんだから、大きなことは言えないが――。

1. Even so, Japanese* are pretty poor in English. Even educated people with degrees from top universities aren't able to write acceptable English. I wonder why?

2. I really can't say much because my Japanese isn't all that great.

[Note] ★「日本人」という場合の Japanese には the をつけても、つけなくてもよい。もしつければカチツとした正確な感じになる。したがって文章体英語には the をつける。

第 1 部

3. でも、ぼくは日本語の会話なら不自由しない。これは“慣れ”の問題だろうな。
4. しかし、日本人の英会話は、聞けたものじゃないな。発音はダメだし、なんと言おうとしているのか、わからない場合が多すぎる。
5. 彼らは、もっと考え方を变えて、頭の中で翻訳をやらずに、最初から英語で考えるようにすべきだ。
6. 同じ東洋人でも、東南アジアの人たちは大体に英語を達者にしゃべるんだ。言葉というものをむずかしく考えないからだろう。
7. ところが日本人はやたらと文法にこだわりすぎるんだ。
8. 肌で英語を吸収しないで、頭の中でまず文法の規則を考えようとする。
3. As far as Japanese conversation goes,* though, I have no trouble. All it takes is a little getting used to.*
4. English spoken by Japanese is so terrible. The pronunciation is poor and more often than not* it's impossible to understand what they're trying to say.
5. Japanese have to change their way of thinking and stop translating in their minds. They should think in English from the very start.
6. Most Southeast Asians are able to speak English quite well. It's probably because they don't think too deeply about a language.
7. Japanese, on the other hand, are too concerned with grammar.
8. Rather than trying to absorb English through the skin, they spend all of their time thinking about grammatical rules.

[Notes] ★as far as~go は「～に関する限り」の意。重要なきまり文句。★get used to は「慣れる」。★more often than not は「きわめてしばしば」というきまり文句。

9. そして口語体と文語体をご
たまげにし、英語でも米語で
もない独特な日本式発音でや
っている。

10. 学校の英語教育のあり方も
根本的に改めて、もっと口語
英語を主体にした、生きた英
語を教えるべきだ。

(ユキオは、ふと、われに返る)

11. おや、よけいなことを考え
すぎたぞ。時間がむだになる。
さあ、仕事だ、仕事だ。

9. Then they mix up literary
and colloquial styles and
create a unique Japanese
style of pronunciation that
is neither British nor
American English.

10. The very foundations of
English language education
need to be re-examined and
spoken English should be
taught instead. That would
be more useful.

11. I've been wasting time
daydreaming. Got to get
back to work.

17. 妹から電話

(デスク上の電話が鳴る。隣のミス・パーシーが受話器をとり上げてから、ユキオにそれをさし出す)

— ブラウンさん、電話よ。

— ありがとう。

— もしもし、ブラウンですが。

— あ、お兄さん。あたしミチコ
よ。

— なんだ、ミチコか。どうした
んだ？

— Mr. Brown, it's for you.

— Thanks.

— Hello, Brown speaking.

— Yukio,* this is Michiko.

— Oh, it's you. What's up?

【Note】★英米では兄弟姉妹でも、互いに相手の名前呼び合う。

第 1 部

— きょうは何時ごろに帰るつもり？

— そうだな。いつものとおり 6 時ごろだろう。なぜ、そんなことを聞くんだ？

— あたし、きょうは友達といっしょに新宿で買い物をするから、帰りがおそくなるの。冷蔵庫の中にいろいろと食べる物があるから、自分で適当に夕食を作って食べてくれない？

— わかったよ。じゃ、帰る途中で、どこかのレストランで食べて帰るよ。

(受話器をおいて、つぶやく)

— よし、きょうは思いきり遊べるぞ。久しぶりに飲むことにするか。

— What time are you going to be home* tonight?

— Let's see. Probably around six, as usual. Why do you want to know?

— I'm going to do some shopping in Shinjuku with some friends, so I'll be home late. There are some things to eat in the refrigerator, so could you fix dinner by yourself tonight?

— Sure. Listen, I'll stop off* in some restaurant on my way home and have dinner there.

— Great! I can go out and have a good time tonight. I think I'll go drinking. It's been a long time.

18. 仕 事 (2)

1. さあ、次の仕事に移ろう。
こんどは何をしようかな。

1. Now to go on to the next order of business. I wonder what to do next.

[Notes] ★「帰宅する」という場合、会話では come home よりも be home をよく用いる。★「立ち寄る」は stop by とも言う。

2. そうだ。作りかけの次号広報用の予定記事一覧表を完成させなくちゃいけない。

2. That's right. I have to complete the list of scheduled articles for the upcoming issue.

(机の引き出しから、一覧表の原稿を出す)

3. ええと、まだ、きまっていない記事が4つある。電話をかけて各課へ聞いてみよう。

3. Let's see, there are still four articles that haven't been decided upon. I'd better call up each section and find out.*

19. 社内電話

(電話の社内ダイヤルを回す)

— もしもし、輸出1課ですか。
ハリソンさんをお願いします。

— Hello. Is this Exports, Section 1? I'd like to speak to Mr. Harrison, please.

— 承知しました。ちょっとお待ちください。

— I see. One moment, please.

— ハリソンさん？ こちらは広報部のブラウンです。次号の広報にのせるのですが、オーストラリア向けの家庭電気製品に関する記事をまだいただいてないんですが——。

— Mr. Harrison? This is Brown from Advertising Department. About the ads for our upcoming issue—we still haven't received the descriptions for the electrical appliance ads for Australia.

[Note] ★find out は「調べた上で知る」という意味で know より意味が強い。

第 1 部

— どうもすみません。あの記事はいま作成中です。あと 2 日でき上がります。もう少し待ってください。

— わかりました。じゃお願いします。* (受話器をおく)

(一覧表を見ながら)

— ええと、次は輸出 5 課だ。

(またダイヤルを回す)

— もしもし、あ、マロウさん？
こちらは広報部のブラウンです。例の記事をまだいただいでないんです。

— すみません。もう 3 日ほど待ってよ。でき上がったら、こちらから届けるわ。

— オーケー。待ってますよ。

(ユキオは一覧表を見てつぶやく)

— ええと、輸出 3 課はたしか、きょうの午後に原稿を出すと言っていたな。ちょっと確かめてみよう。

— Sorry about that. We're still working on that material. We'll be ready in two days. Can you wait a little while longer?

— I see. Okay, then. I'll be counting on you.

— Hmm. Now to get in touch with* Exports, Section 5.

— Hello, Miss Marrow? This is Brown from Advertising. We haven't received the descriptions, yet.

— Sorry. Can you wait three more days? As soon as it's finished, we'll send it over to you.

— Okay. I'll be waiting.

— Let's see. Exports, Section 3 was supposed to have the draft out by this afternoon. I think I'll check on it.

[Notes] ★「お願いします」にあたる英語はないので、ふつう英米人はこんなこととは言わないが、しいて言えば、「あなたを期待している」という意味で、このように言えばよい。★**get in touch with** は「～と連絡する」という重要なきまり文句。

(また、ダイヤルを回す)

— もしもし、輸出3課ですか。
タナカさんいらっしゃいますか？

— Hello. Is this Exports, Section 3? May I speak to Mr. Tanaka?

— いま、ちょっと出かけていますか——。

— I'm sorry, but he's out* right now.

— いつごろお帰りですか？

— When do you expect him back?

— そうですね。3時ごろに帰ってくると思います。

— Let's see. He should be back* about three.

— じゃ、お帰りになったら、広報部のブラウンまで電話してくださるよう、お伝えくださいませんか。

— Then when he returns, could you* have him call* Brown in Advertising?

— 承知しました。お伝えします。

— Right. I'll tell him.

(ユキオは一覧表をのぞいてつぶやく)

— あとに残っているのは輸出4課だけだ。どういう状況かな。

— All that's left now is Exports, Section 4. I wonder what's going on* there.

(受話器をとり上げて、ダイヤルを回す)

— もしもし、輸出4課ですか？
スミスさんいらっしゃいますか？

— Hello. Is this Exports, Section 4? May I speak to Mr. Smith?

【Notes】 ★「出かけている」は out と言えばよい。★「帰ってくる」は be back と言う。come back とはふつう言わない。be back のほうが場所をはっきりあらわす。★could you は can you よりもていねいな言い方。★have him call は「彼に電話をかけさせる」。★what's going on は「何が行われているか」。

第 1 部

— はい、います。電話をかわりますから、少々お待ちください。

(スミス氏が電話に出る)

— やあ、ブラウンさん、どうですか？ 久しぶりですね。お元気ですか？

— ありがとうございます。例の次号広報用の記事の原稿はまだできませんか？

— ああ、できていますよ。届けましょうか？ 何時ごろが都合がよいですか？

— いつでもいいですよ。いや、ちょっと待ってください。記事内容についてゆっくりご意見をお聞きたいので、午後1時ごろはどうですか？

— わかりました。じゃ1時にそちらへお伺いします。

— はい、お待ちしております。

— Yes, he is. Hold on* a moment, please, while I get him for you.*

— How're you doing, Mr. Brown? It's* been a while, hasn't it? How've you been?

— Fine. Is the draft for the upcoming advertisement description ready yet?

— It's completed and ready. Shall we send it over to you? When is a good time for you?

— Anytime. No, wait a minute. I'd like to sit down and hear your opinion on the matter, so how about one o'clock?

— Sure. Then I'll see you at one o'clock.

— I'll be waiting.

【Notes】★Hold on は「受話器を耳にあてたままで待つ」の意。★I get him for you. は「彼と電話をかわる」の意。直訳すれば「あなたのために彼を呼ぶ」。★It's been は It has been の略。

20. 原稿の執筆

(ユキオは一覧表を見ながら、シルシをつけて、つぶやく)

1. さあ、これで予定記事の件も、かたがつく。いま何時だろう？

(腕時計を見る)

2. おや、もう11時を過ぎたぞ。時間がたつのは早いなあ。急いで次々と仕事を片づけなくちゃ。

3. そうだ。「東京の銀座」と題する1ページものの短い随筆を書くのを忘れていた。

4. よし、それにとりかかろう。これは広報にうるおいをつけるためのものだから、やわらかい文体にするほうがいいな。

(英文の原稿を書こうとして、じっと考える)

5. ぼくはまだ東京をよく知らないんだが、なんとかして仕上げなくちゃいけないな。どんなふうに書いたらいいかなあ。

1. That takes care of* all the scheduled articles. I wonder what time it is?

2. Oh, it's already past eleven. Time really goes by quickly. I've got to hurry and finish up the next piece of business.

3. That's right. I forgot all about writing the one page essay on "Tokyo's Ginza."

4. I guess I'll start on* it now. This is supposed to soften the effect of the ad so I should use a more colloquial style of writing.

5. I still don't know Tokyo that well, but I've got to finish this somehow. I wonder how I should write this.

[Notes] ★take care of はふつう「～の世話をする」の意味だが、アメリカ英語では「～を処理する」の意味でよく用いられる。★start on it という場合、この on には「これから」というような意味がある。

第 1 部

6. そうだ、昼の銀座と夜の銀座に分けよう。昼の銀座は表通りの商店街で、夜の銀座は西と東の裏通りにある飲み屋街だ。それを書けばいいんだ。

6. I know. I'll divide this piece into Ginza after dark and Ginza during the day. The section on Ginza during the day will focus on the busy storefront shopping street. Ginza after dark will be about the tavern and bar lined back streets of East and West Ginza. That would be a good way to write the article.

(英文を書き始める)

7. なかなか、むずかしいなあ。都市や人間というのは書きにくいものだ。

7. This is difficult. Cities and people are not easy subjects to write about.

8. でも東京は明らかにニューヨークやロンドンとは違う。言ってみれば西洋のまねをした東洋の都市なのだ。

8. But Tokyo is clearly quite different from New York or London. You* could say it's an eastern imitation of western city.

9. 銀座もニューヨークのブロードウェイとはまるで違う。やはり日本的な繁華街だ。

9. The Ginza is so completely different from Broadway in New York. It's a lively shopping street with a unique Japanese touch.*

【Notes】★You はこの場合「あなたは」でなく、一般の人を意味する。★with a unique Japanese touch は「独特な日本調を持った。」。

10. 表通りはきれいだが、裏通りはきたないだからなあ。

10. The Ginza is clean and attractive, but the back streets are dirty and run-down.

11. やはり西洋的な表面よりも、東洋的な裏面を強調するほうがいいだろうな。

11. It would be better to stress the Oriental back streets rather than the western style main streets.

(急いでシャープペンを走らせ、しばらくして時間を見る)

12. おや、12時までにあと20分か。さあ、急ごう。

12. Only twenty minutes to twelve. Got to hurry.

13. おっと、この文章はまずい。この部分は書き直そう。消しゴムはどこへ行ったかな。

13. This wording isn't good. I'd better rewrite this part. Now where did the eraser go?

(引き出しをあけて消しゴムをさがす)

14. あった。このプラスチック消しゴムはよく消えるんだ。

14. Found it.* This plastic eraser really does the job.*

(消したあとへ別の文章を書き込む)

15. 少々きたなくなっちゃったが、まあいいや。

15. It's a little dirty. Oh, well.

(シャープペンのシンが出てこない)

16. おや？ シンが出ないぞ。詰まったのかな。このシャープペンはあまりよくないな。

16. The lead* isn't coming out. I wonder if it's stuck. This pencil isn't very good.

[Notes] ★Found it は I found it の略。★really does the job は「ほんとうによい仕事をする」。★lead はシン。[led] と読む。

第 1 部

17. 中をあけてみよう。(シャー
ブペンの先をはずす)やはり、
詰まってるあ。 17. Let's open it up and have
a look. I thought so — it's
stuck.
18. よし、直った。こんどはい
いぞ。 18. Fixed it.* Now it's
working.
- (また書き始めるが、しばらくして時計を見る。12時2分前)
19. ああ、もう昼だ。仕事のつ
づきは昼からだ。 19. Lunchtime. Guess I'll* quit
for now and finish this after
lunch.

21. 昼休み

1. ああ、腹が減った! さあ、
食事に出かけよう。 1. Wow! I'm starved. I guess
I'll go out for lunch.
2. その前に、ちょっと手を洗
っておこう。 2. First, I'd better wash my
hands.
- (トイレで用を足しながら窓の外を見る)
3. 外はいい天気だなあ。きょ
うはどこで食事しようかな。 3. Great weather out. I
wonder where I'll have
lunch today.
4. 丸の内のマイヤリングにす
るかな。いや、待てよ。きょ
うは銀座へ個展を見に行くか
ら、東京駅から電車で有楽町
へ出ることにするか。 4. How about the Myering in
the Marunouchi. No, wait.
If I'm going to the exhibit
in the Ginza today, it'd be
better* to go to Yurakucho
by train from Tokyo
Station.

[Notes] ★Fixed it は I fixed it の略。★Guess I'll は I guess I will の略。
重要なきまり文句。★it'd be better は it would be better の略。「(有楽町へ行
くとすれば) そのほうがよいだろう」の意を含む。

5. よし、それにきめよう。 5. Okay, that's what I'll do.
 6. そうときまったら、急がなくなっちゃ。時間は1時までしかないんだ。 6. I'd better hurry because I only have an hour (for lunch).

(水道の蛇口をひねって手を洗う)

7. おや、手ふき用の紙がないぞ。 7. Hey, there aren't any paper towels.

(ポケットからハンカチを出して手をふく)

8. さあ、エレベーターに乗ろう。 8. Now to the elevator.

(エレベーターが止まってドアがあく)

9. どうも、このエレベーターはおそいな。もっと早く動いたらいいのに。 9. This elevator's awfully slow. If only it would move a little faster.

(ユキオのつぶやきを聞いた1人の男が、妙な顔をする)

10. そんな妙な顔をして見なさんな。ぼくは、別段気が狂っているんじゃないんだ。 10. You don't have to* give me such a strange look. I haven't lost my mind or anything like that.

(エレベーターを出てビルの入り口へ向かう)

11. あ、もう12時10分だ。急がないと時間がなくなるぞ。 11. It's already ten after twelve. If I don't hurry up, there won't be any time left.

(駅のほうへ急ぎながら)

12. ああ、外は暑いなあ。これじゃ汗をかくぞ。上着を脱ごう。 12. It's hot. I'll probably perspire so I'd better take off my jacket.

[Note] ★don't have to は do not have to の略で、「～する必要はない」。これをアメリカ人が早口で言うとう「ドンハフタ」と聞こえることがある。

第 1 部

(東京駅の丸の内側を見て)

13. カッコいい駅だが、もう古めかしいな。近代的な大きなビルに建て直すといいのに。
14. 丸の内側は人が少なくて静かでいいんだが、八重洲側へ出ると、すごく込んでいるんだ。
15. ほう、ちょうど電車が入って、これはいい。
16. 昼間だというのに、あまりすいていないな。とにかく東京は人が多いんだ。
17. でもニューヨークやロンドンだって同じようなものだ。
18. さあ、有楽町へ着いたぞ。
19. 日劇のそばを通るか、それとも交通会館の左側を通るか、どっちにしようかな。
13. It's an impressive station, but it's too old. They* should tear it down and put up a modern building instead.
14. The Marunouchi side is quiet and not crowded at all, but if you go out the Yaesu side, it's packed with people.
15. Great timing. The train just pulled in.*
16. It's not very empty considering that it's only the middle of the day. Tokyo is so crowded.
17. But then, New York and London aren't much different.
18. Here we are — Yurakucho.
19. I wonder whether to go by the Nichigeki* or down the left side of the Kotsukaikan.

[Notes] ★この場合の **they** は特定の人をさした「彼ら」ではなく、「関係者は」、「当局は」という漠然とした意味。★**pull in** は電車や列車が「入ってくる」。★**the Nichigeki** とか **the Kotsukaikan** のような建築物の場合、**the** はなくてもよいが、これをつけるとカチッとした自然な感じが出る。

20. そうだ、先に食事をするほうがいいから、こっちの方向へ行こう。 20. It'd be better to finish lunch first, so I'll go this way.

(ユキオは日劇のほうへ向かって歩きだす)

21. 昼食時だから会社員がたくさん出歩いているんだな。 21. It's right in the middle of the lunch hour, so there are lots of company employees out walking around.

22. まず、このあたりで食事しよう。どこへ入ろうかな。 22. First to have lunch somewhere around here. I wonder where to go? I know, I'll go to the New Tokyo. It's spacious inside so there's sure to be an empty table.
- そうだ、ニュートーキョーがいい。あそこは中が広いから空席があるだろう。

(おおぜいの人といっしょに信号が青になるのを待つ)

23. 日本人は信号をよく守るなあ。ニューヨークやロンドンでは、こうはいかないんだ。 23. Japanese really pay attention to traffic signals. It's nothing like New York or London.

24. このあたりへ来ると美人が多いなあ。ファッションも板についてるよ。 24. There are lots of pretty girls around here. Not only that, but they really know how to dress.

(信号が青になって、みんなぞろぞろと道路を横断する)

25. 外人も多いなあ。観光客かな。 25. Lots of Caucasians, too. Wonder if* they're tourists.

[Note] ★Wonder if は I wonder if の略。

第 1 部

22. 昼 食

(ショーウィンドーの中の料理の見本を見ながら、つぶやく)

- | | |
|-------------------------------|--|
| 1. 何にしようかな。昼だから 軽いものでいいんだ。 | 1. I wonder what to order. I'm only having lunch so something light would probably be best. |
|-------------------------------|--|

(Aランチというのを見て)

- | | |
|---------------|------------------------|
| 2. よし、これにしよう。 | 2. I'll take this one. |
|---------------|------------------------|

(切符売り場の前へ行って、1000円札を出しながら英語で言う)

- | | |
|---|--|
| — Aランチを一つ。それにコー ヒーも。 | — One A lunch, please. And a cup of coffee, too. |
| — 合計で850円ですから、150円 のおつりです。ありがとうご ざいました。 | — That'll be 850 yen in all, so here's 150 yen change, sir. Thank you very much. |

(ユキオは奥へ入る)

- | | |
|--|--|
| 3. ああ、やっぱり込んでるな あ。どこかにあいた席はない かなあ。 | 3. Just as I thought. It's crowded. Isn't there an open seat* somewhere? |
| 4. あ、あそこがあいているぞ。 あそこへすわろう。 | 4. There's one over there. That's where I'll sit. |

(ユキオは奥の空席まで行って、すわる)

- | | |
|--------------------------------|---|
| 5. 早く食事を出してくれない と、時間がなくなるぞ。 | 5. If they don't hurry with my order, I won't have any time left. |
|--------------------------------|---|

[Note] ★空席のことを日本人はよく **vacant seat** と言うが、会話では用いない。

(時計を見る)

6. おや、もう12時20分だ。ここを40分に出ないと、銀座4丁目のサロンに寄れないな。

6. It's already 12 : 20.* If I don't leave at 12 : 40, I can't stop by the salon at Ginza 4 chome.

(ウェーターが食事を運んでくるのが見える)

7. あ、来た、来た。よし、急いで食べよう。

7. Here it comes. Got to eat* in a hurry.

(食べながらつぶやく)

8. 腹が減っているから、おいしいや。

8. It tastes good because I'm so hungry.

9. こんなランチは日本独特のものだなあ。アメリカにはないんだから —。

9. This kind of lunch is unique to Japan. There's nothing like this in the States.*

10. このハンバーグはやわらかくていい。料理や味ということになると、やはり日本のほうがいちばんいいな。

10. This hamburger is good and tender. As far as cooking and seasoning go, the Japanese are the best.

11. だいいち、日本の料理はすごくバラエティーに富んでいるんだ。材料が豊富なんだな。

11. In the first place, Japan has such a variety of dishes. There are so many different ingredients.*

[Notes] ★12 : 20は twelve twenty と言う。★Got to eat は I've got to eat (食べねばならない) の略。★the States は the United States of America の略。よく用いられる。★この場合の ingredients は料理の材料。

第 1 部

(向こうのほうを見てつぶやく)

12. おや、あの女性はフォークの裏側にライスをのせて食べているぞ。そういえば、日本人はみなそうするようだ。おかしい食べ方だ。あたりまえにフォークですくって食べればよいのに。

13. それに多くの日本人は、食事のときに口の音をベチャベチャさせて食べるんだ。あの悪習は断然やめるべきだ。

14. しかもたいていの日本のレストランには、テーブルに紙ナプキンが置いてない。あれでは口もふけない。

15. 日本の生活文化もまだまだというところか――。

16. しかし、外国人にもずいぶんマナーの悪いのがいるから、どっちもどっちだろう。

17. おっと、時間がなくなるぞ。さあ行こう。

12. Hey, that girl is putting rice on the back of her fork. All Japanese eat that way. It's a strange way of eating. If they'd only scoop their food up with a fork in the obvious way, it'd be much better.

13. Besides that,* Japanese make so much noise when they eat. No doubt about it.* Japanese must get rid of* that awful habit.

14. Besides that, most Japanese restaurants don't have* paper napkins on the table. You can't even wipe your mouth.

15. Japanese culture still has a long way to go.

16. But then, there are quite a few foreigners with bad manners, so I guess the same can be said for both.

17. Whoops! Almost out of time. I've got to go.

[Notes] ★Besides that は「それ以外にも」。★No doubt about it. は「それについて疑いはない」の意味から「確かにそうだ」。★get rid of は「除去する」。★「どこそこ～がない」という場合、本来そこにはないものなら「どこそこは～を持っていない」という言い方をするのが英語の特徴。本来あるにもかかわらず、そのときに限ってないのなら、There's no～または I can't find～などと言う。

(ユキオは時計を見る)

18. 12時35分か。よし、銀座へ出よう。

18. 12 : 35. Now to go to the Ginza.

23. 写真展へ向かう

(外へ出て、銀座4丁目の方向へ向かって歩く)

1. ほんとに、きょうはいい天気だな。それにしても人が多いのは、この好天気のおかげかな。

1. It's really a nice day. There are so many people out today. It must be because of this great weather.

2. おや、向こうを歩いているのはインド人じゃないか。いくら暖かい日とはいえ、あんな格好では寒くないのかなあ。

2. Hey, there's an Indian (または someone from India) walking over there. It may be warm, but I wonder if she isn't cold dressed like that.

3. 女性はさすがにミニスカートはいないな。ロングスカートにブーツでは男性にとっては興ざめだ。

3. Just as I expected, there aren't any women in mini-skirts. What man wants* to look at women in long skirts and boots?

(手相見の男を見て)

4. この手相見は当たるのかな？

4. I wonder whether this fortune teller's predictions are true or not.*

[Notes] ★What man wants～は「いったい、どんな男が～を望むだろう？」の意。★whether～or not は「～かどうか」。

第 1 部

(小さなひよこが歩き回るおもちゃを道ばたで売っている)

5. ほう、おもしろいおもちゃだ。日本人はいろいろとおもしろいものを作る民族だ。

5. This is an interesting toy. Japanese come up with* some really interesting gadgets.*

(銀座4丁目の角まで来る)

6. ああ、きょうは三越デパートはやっているな。時間があれば寄りたいところだが、きょうは無理だ。

6. Mitsukoshi's open today. If I had time, I'd like to stop by, but it's a little impossible today.

7. ええと、あのサロンはどこだったかな？ たしかこのあたりのはずだが――。

7. Let's see, now. Where was that salon? I was sure it was somewhere around here.

8. 松屋デパートの前にあるはずだ。

8. It's supposed* to be in front of Matsuya Department Store.

9. ああ、ここだ。これがNサロンか、よし、入ろう。*

9. Oh, here it is. So this is the N Salon.

24. 写真展

(2階へ上がって、サロンの中へ入る)

1. ほう、みごとな作品がたくさんあるじゃないか。さすがは風景写真の第一人者、アオヤマ氏だ。

1. Hmm. These are excellent. No wonder Mr. Aoyama is known to be outstanding in the landscape photography field.

[Notes] ★come up with は「～を思いつく」。★gadgets は「装置」, 「仕掛け」, 「道具」, 「ちょっとしたおもしろいもの」。★It's supposed は「～のはずだ」。★「よし入ろう」に相当するのは I guess I'll go in だが、英語では普通使わない。

(各作品をゆっくり見て回る。ある写真の前で立ち止まる)

2. ああ、この写真はいいなあ！海の白い波に黒い岩、また白い砂と、白と黒のコントラストが絶妙だ。たいしたものだなあ！
3. カメラは何を使ったんだろう？この画質で見ると、35mmカメラではなさそうだな。
4. 日本は写真王国で、芸術写真の本場だと聞いているが、確かにそうだ。日本人の芸術的感性は抜群なのだ。
5. いったいアメリカ人は写真を芸術とは思っていない。彼らはせいぜい安物カメラで家族の記念写真を撮る程度だ。
6. だが、日本人ときたら少年にいたるまで、高級カメラを持って撮りまくっている。
7. なぜ日本人はこうまで写真を撮りたがるのだろうか。どうもわからないな。
2. This photograph is really good! The white waves of the sea against the black rocks... and then white sand. The contrast of black and white is really exquisite. Fantastic!
3. I wonder what kind of camera he used. Judging from the sharpness of this picture, he probably didn't use a 35 millimeter camera.
4. Japan is truly a country that appreciates photography and is definitely the home of artistic photography. Japanese sensitivity to art is superb.
5. Americans just don't consider photography an art. The best they can do is to take family pictures with some cheap camera.
6. But in Japan, even young boys run around taking pictures with expensive cameras.
7. I wonder why Japanese love taking pictures so much. I don't understand.

第 1 部

(ユキオは時計を見る)

8. あ、いけない。12時45分だ。
そろそろ引き揚げよう。

9. もっとゆっくり見たいけど、
残念ながら時間がない。

8. Oh, no. It's 12:45. I'd
better be leaving pretty
soon.

9. I'd really like to look a
little longer, but unfortu-
nately I don't have the time.

25. 外へ出る

1. ああ、いい写真展だった。
日本はやはり芸術の国だなあ。

(ニッカーに地下足袋をはいた男を見て、つぶやく)

2. おや、この人は何をする人
なのだろう、奇妙なスタイル
だ。アメリカ人では見られな
い服装だが――。

3. しかし、この銀座で見かけ
る日本人は、みなりっぱな服
装をしているなあ。ニューヨ
ークなどと比較にならない。

4. 日本は確かに裕福な国だ。
だが住宅事情は必ずしもよく
ないな。

1. That was a really fine
exhibit. Japan is truly a
country that appreciates
art.

2. I wonder what this person
does. What a strange get-
up.* It's something you
would never see in the U.S.

3. All the Japanese here on
the Ginza are dressed so
well. It doesn't even com-
pare with New York.

4. Japan is definitely a rich
country. But the housing
situation isn't always that*
good.

[Notes] ★get-up はアメリカの俗語で、style または outfit を意味する。★
that good は so good の会話的な言い方。

5. いまだにおおぜいの人々がタミ敷の部屋で暮らしているというのは、伝統のせいもあるのだろう。

5. The fact that even now so many people are living in tatami-mat rooms must be partly due to tradition.

(ユキオは銀座4丁目の角を回って、有楽町方面に向う)

6. おおぜいの人々がきょうも生きて活動し、そして明日になり、明後日になる――。

6. So many people are alive today. And will be tomorrow, and the day after...

7. 今から100年後に、この人の群れは地上から姿を消しているだろうし、銀座の街の様子も変わっているのだろう。

7. 100 years from now this flock of people will have disappeared from this earth and the Ginza will have changed as well.

8. 人間とは何なのか。人生とは何なのか。

8. What is man? What is life?

(立ち止まって日劇の大きな看板を見てつぶやく)

9. 「かぐや三銃士」だって？ 喜劇だな。どんな内容だろう。

9. Hmm... 'Kaguya Sanjushi.' A comedy.* I wonder what it's about.

10. そういえば、久しぶりに映画を見たいな。いま東京では“Close Encounters of the Third Kind”を「未知との遭遇」と題してやっていて、どれくらい評判のようだが、あまり気乗りがしないな。

10. That reminds me. It's been a long time since I've seen a movie. Right now “Close Encounters of the Third Kind” is playing in Tokyo under the title, “Michi tono Sogu.” It's getting rave reviews,* but I just don't see what all the fuss is about.

[Notes] ★普通は **comedy** の前に **It's** を加えるが、つぶやいているときはいいらない。★**rave reviews** は「よい評判」。

第 1 部

11. UFOに関心はあるんだが、しよせん映画は作り物だからな。
11. I'm interested in UFOs, but after all, movies are only fiction.
12. それよりも、いつかロサンゼルスで見たジョン・スタインベック原作の、アメリカ・メキシコ合作映画 "The Pearl" をもう一度見たいな。古い映画だが、すばらしい作品だった。
12. More than that, I'd rather see the joint American and Mexican film of John Steinbeck's "The Pearl" that I saw in Los Angeles before. It may be an old movie, but it's one of the best.

(ユキオは信号を見ている)

13. おっと、信号が青に変わったぞ。さあ、急ごう。
13. The light just changed. Better hurry.

(道路を横断して、駅のほうへ行く。弁当を売っている店を見て)

14. いろんな種類の弁当を売っているんだな。この弁当も全く日本的だな。
14. There are many kinds of box lunches. Those box lunches are also something uniquely Japanese.

(切符の自動販売機の前で、小銭入れをポケットから出す)

15. おや、小銭がないぞ。10円玉5枚と5円玉1枚か。これじゃ80円の切符が買えないや。
15. I don't have any change. All I've got is 5 ten-yen coins and 1 five-yen coin. I can't buy an 80 yen ticket with this.
16. これは困った。どうしようかな。
16. Oh, no. I wonder what I should do.

[Notes] ★**That's it.** は何かうまい方法を思いついたときに言うきまり文句。他人に向かって **That's it.** と言えば、相手の言葉に対して「そのとおりです!」と強く相づちを打つ表現となる。★**over there** は「あそこ」。★**be about to**～は

(新聞や週刊誌を売っているスタンドを見て)

17. そうだ、あそこで新聞を一つ買って、お金をくずすことにしよう。
17. That's it.* I'll buy a paper over there and get change.

18. これ、一つください。はい、1000円札。
18. Let me have one of these. Here's 1000 yen.

(おつりを受けとって、切符を買う)

19. さあ、急いで帰ろう。1時まであと7分しかないぞ。
19. Now to hurry back. I only have seven minutes till one.

(改札口を通してホームへ出る)

20. あ、ちょうど電車が出るところだ。あれに乗ろう!
20. The train is just about to pull out.* I've got to get on that.

(電車に飛び乗ったとたんにドアが閉まる)

21. ああよかった。助かった!
21. Good! I'm safe!

(窓の外を見ながら、つぶやく)

22. でも、この調子では1時に少し遅れるかも知れない。
22. But at this rate I may not make it back* by one.

(祈るような調子で)

23. どうか部長が事務所にいませんように。
24. Please don't let the boss* be in the office.

(電車が東京駅のホームに着く)

25. さあ飛んで帰らなくちゃ。
25. Now I have to really fly back to work.

「まさに～しようとする」。**pull out** は電車が「出て行く」。**★make it back** は「帰りつく」。**★**日本語で「ボス」と言えばよくない意味があるが、英語では「上役」という意味で普通に用いる。

第 1 部

26. 帰 社

(エレベーターがちょうど止まってドアが開く)

1. ほう、ついているなあ。 1. I'm really lucky today.

(エレベーターを出たユキオは、あたふたと事務所へ入る)

2. やあ 1 時 3 分だ。3 分の超
過か。でも部長はいないぞ。
よかった。 2. Three minutes past one.
I'm three minutes late. But
the boss is out. Phew!

(机に向かってすわる)

3. ああ、くたびれた。1 時間
足らずの間に銀座まで出てく
るのは楽じゃないな。 3. I'm tired. It's not easy
going out to the Ginza and
back in less than an hour.
4. 買った新聞は持ち帰って読
むことにするか。かばんに入
れておこう。 4. I guess I'll take the paper
I bought and read it at
home. I'll keep it in my
brief case.
5. タバコはめったに吸わない
んだが、一服やってみるか。 5. I hardly ever smoke but
maybe I'll have a puff* or
two.

27. 雑 談

(隣のミス・パーシーに)

- パーシーさん、マッチを貸
してくれませんか。 — Miss Parcy, can you give
me a light?

- いいわよ。 — OK.

(ライターでユキオに火をつけてやりながら)

- どこへ行ってきたんですか? — Where were you?

[Note] ★have a puff は「(タバコを)一服やる」。

—銀座へ出てきましたよ。写真展を見にね。

—よかったですか？

—よかったねえ。アオヤマ氏の芸術に感動しましたよ。

—そうですか。私もいっしょに行けばよかったなあ。

—まだ当分は開催されてますから、あすにでも行けばいいでしょう。

—じゃ、あす行ってみるわ。

—日本人はどうしてこうまで写真好きなんだろうね。きょうも銀座で高級カメラをさげた日本人をかなり見かけましたよ。ロサンゼルスやニューヨークに住む米人たちは、あままでカメラを持ち歩かないものだが——。

—それは地方から東京へ出てきた観光客じゃないの？

—I went out to the Ginza to see a photography exhibit.

—How was it?

—Excellent. I was really impressed by Mr. Aoyama's artistry.

—Really. I should have gone with you.

—It'll be on for quite a while,* so why don't you drop by tomorrow?

—I'll go take* a look tomorrow.

—I wonder why Japanese like cameras so much. I saw a lot of Japanese carrying expensive cameras today on the Ginza. You never see people in Los Angeles or New York carrying cameras around like that.

—Those are probably people from the country out touring Tokyo.

【Notes】★for quite a while は「当分の間」。★go take は go and take の会話的な言い方。

第 1 部

— いや、服装から見ると、そうでもないようだね。やはり東京の人だろう。それも、みなすごくいいカメラを持っているんだ。

(パーシーもタバコを吹かしながら、話しかけてくる)

—ほんとに、日本というのは奇妙な国だわ。マッチ箱みたいなきかない小さな家に住んでいる日本人が、高級な車を乗り回したり、狭い部屋の中に大きな電子オルガンをおいたりしているんですもの。もっと住宅をよくすることに重点をおくべきだわ。

(ユキオが、うなずいて言う)

—そこですよ、問題は。住宅は欧米にくらべてひどく劣るんだが、芸術や文化は高度に発達しているんだ。大きなアンバランスがあるようだね。

—No, judging by their clothing, I don't think so. They must have been Tokyoites.* And they were carrying really good cameras.

—Japan is really a strange country. People living in dirty little matchbox houses ride around in expensive cars and keep large electric organs in tiny rooms. They should be more concerned with improving housing.

—That's just where the problem lies. Compared to the U.S. and Europe, the housing is really inferior but culture and the arts are so highly developed. There seems to be such a disparity.*

[Notes] ★Tokyoites は「東京人」。「トーキョー」の「アイツ」と覚えればよい。★disparity は「ふつりあい」、「不一致」。日本人はよく「アンバランス」と言うが、英語では off balance と言うことが多い。

— 全く日本は奇妙な国だわ。
日本人という民族が私にはど
うもよくわからない。日本人
は、おかしくもないときによ
く笑ったりするし——。

— ハハハ、あれは善意の笑いで
すよ。決して軽蔑の笑いじゃ
ない。

— そうかしら。でも日本人は
目の玉の色が黒いから、何を
考えているのかわからないわ。
ちょうど黒めがねをかけた感
じだわ。

— そうかねえ。ぼくは日本人を
見なれているせいか、そうも
感じないんだけど——。

— 東京も下町へ行くと、ずい
ぶんきかない家が多いわねえ。
欧米人にはとても住めそうに
もないような家に、みな平然
として住んでいるわ。

— Japan is such a strange
country. I just don't under-
stand the Japanese people.
They laugh when there isn't
anything humorous to laugh
about.

— Ha, ha, ha. That kind of
laugh is well-intended and
not meant to be disre-
spectful.

— I wonder... But Japanese
have black eyes, so you
never know what they're
thinking. It's just like
wearing dark glasses.

— I don't know about that.*
Maybe it doesn't seem that
way to me because I'm so
used to* Japanese.

— If you go into downtown
Tokyo you can see some
really rundown houses. The
people there have no
qualms* about living in
homes that Americans and
Europeans couldn't possibly
live in.

[Notes] ★I don't know about that. は「さあ、それはどうだか」という意味
のやわらかい否定。★be used to はすでに「なれている」。これから何かに「な
れる」という場合は get used to と言う。★qualm は「いやな気分になること」。

第 1 部

— 住宅や生活環境に対する観
念が根本的に違うんだろうな
あ。

(ユキオは時計を見て、つぶやく)

— 1 時15分か。さあ、仕事を
始めるかな。

(ミス・パーシーに向かって)

— ときに、部長はどこへ行っ
たんですか？

— まだ昼食から帰ってこない
わ。

— そうですか。緊急に話したい
ことがあるんですがね。もう
少し待ってみよう。

— There must be a funda-
mental difference in the
ways of thinking about
housing and living environ-
ments.

— It's 1:15. I guess I'd better
get to work.

— By the way, where did the
boss go?

— He's not back from lunch
yet.

— Is that so? I have some
urgent business to talk with
him about. I'll wait a little
longer.

28. 翻訳の仕事

(ユキオは本立てから「日本の伝統文化」と題する日本語の本をとり出す)

1. これを英文に訳してくれと
部長から頼まれたのだが、完
訳にするのか、それとも大意
だけでいいのか、聞きそびれ
たんだ。

1. The boss asked me to
translate this into English
for him but I didn't hear
whether he wanted a com-
plete translation or just a
summary.

(本を開く)

2. むずかしそうだな。読めない漢字があるぞ。よくわかる日本語の辞書をさがしてこよう。

2. It looks difficult. There are some kanji I can't read. I'd better look for a Japanese dictionary that's easy to understand.

(事務所のすみの書棚のほうへ歩み寄る)

3. ええと、どの辞書がいいかな。印刷してある文字の大きいほうがいい。日本の辞書はみんな字が小さいんだ。

3. I wonder which dictionary to use. One with large print would be best. The print in Japanese dictionaries is so small.

(1冊の大きな国語辞典を開いてみる)

4. うん、これはいい。これにしよう。

4. This one's good. I'll use this one.

29. 部長との会話

(辞書を手にとって、自分の机に戻ると、部長が戻ってくる)

— 部長、この本の翻訳は完訳ですか、それとも大意だけでいいんですか?

— Boss, did you want a complete translation or a summary of this book?

— そうだね。第1章と第2章を完訳してあとは大意だけでいいよ。

— Let's see. How about a complete translation of chapters one and two and a summary of the rest?*

— これは広報にのせるものですか?

— Is this for our bulletin?

【Note】★the rest は「残りの部分」。

第 1 部

- いやのせるんじゃないよ。要するにわれわれ外人が日本の伝統文化を知るための情報にするんだ。でもなるべく早くやってくれよ。広報部で日本語が読めるのは、君だけだからな。期待しているよ。
- いや、ぼくの日本語はあなたのフランス語ほどではありませんよ。
- でも、そのフランス語が東京では全然役に立たないんだ。たいていの日本人はフランス語を知らないんだ。
- 英語だって、ほんとうに達者にできる日本人は少ないですよ。
- 言葉の壁をとり除くのは、むずかしいもんだな。
- No, it isn't. We'll use it as material to help us foreigners understand Japanese traditional culture a little better. But I'd like it done as quickly as possible. After all, you're the only one in the ad department who can read Japanese. I'm counting on you.
- My Japanese isn't as good as your French.
- But my French isn't of any use* to me here in Tokyo. Most Japanese don't understand French.
- But there aren't that many Japanese who are truly proficient in English.
- Breaking down language barriers is a difficult thing to do.

[Note] ★not of any use は「役に立たない」。

30. 翻訳の続き

(ユキオは翻訳の仕事にとりかかる。そして、つぶやく)

- | | |
|---|---|
| <p>1. これは、かなりむずかしい文章だな。日本の高校生にこれが楽に読めるだろうか。中学生にはまず無理だろうな。</p> | <p>1. This is pretty difficult. I wonder if Japanese high school students can read this easily. It would definitely be difficult for junior high school students.</p> |
| <p>2. おや、これはいったいなんという字だ？ ちょっと辞書を引いてみよう。</p> | <p>2. What in the world* is this character? I'd better look it up.*</p> |
| <p>3. ははあ、これはヘンセン（変遷）と読むのか。物事の移り変わりを意味するんだな。</p> | <p>3. This is read "hensen." It means change or transition.</p> |
| <p>4. そうすると、英語ではvicissitude だ。</p> | <p>4. Which means that in English, it would be "vicissitude."</p> |
| <p>5. おや、もっと複雑な字があるぞ。これはなんと読むのだろう？</p> | <p>5. Here's an even more complicated character. I wonder how you* read this one?</p> |

(ユキオは辞書をめくる)

- | | |
|--|---|
| <p>6. なかなか見当たらないな。どちらも糸へんだから、このあたりにありそうなものだがなあ。下の文字がサイ（細）という字であることは知っているんだが――。</p> | <p>6. I can't find it. They both have the "ito" radical, so it should be somewhere around here. I know the bottom character is "sai."</p> |
|--|---|

[Notes] ★in the world は「いったい」という意味の強調語。★look up は「調べる」。★この場合の you は「人は」ぐらいの意味。

第 1 部

7. あ、あった、あった。この字だ。ははあ、これはセンサイ（繊細）という単語だ。つまり英語の delicateness に相当するんだな。
8. そうすると、この文章の意味は「古来、日本人は主として朝鮮と中国の文化の影響を受けてきて、時代の変遷とともに風俗も変化したけれども、繊細な感覚は失わなかった」ということだな。
9. そうだろうな。日本人はすごく自意識が強くて恥ずかしがりやなんだから、繊細な感覚はあるんだろうな。
10. ふん、そうか、なるほど。
11. おや、この部分は意味がおかしいぞ。主語がよくわからない。
12. どだい日本語はよく主語を省略するから、外人にはわかりにくいんだ。
7. Here it is! This is it. This means "sensai." In other words, "delicateness" in English.
8. So the meaning of this passage is, "From ancient times, Japan has been influenced chiefly by the cultures of China and Korea. Along with the vicissitudes of time, customs have undergone great changes, but the sense of delicateness has not been lost."
9. That's probably true. After all, Japanese are very selfconscious and shy, so they probably do have a sense of delicateness.
10. Hmm. I guess so...
11. I don't understand what this part means. I don't know what the subject is.
12. The Japanese language utterly deletes the subject, and makes it so difficult for foreigners to understand.

[Note] ★delete は「削除する」。

13. 待てよ、この部分は文の主
部で、この部分が述語になる
はずだから、要するに主語は、
この主部の中に隠されている
んだ。
14. とすると、主語はなんとい
う語になるんだろう？
- (ユキオはしばらく考える)
15. どうもわからないな。日本
人ならすぐわかるだろうに。
16. あ、そうか。わかった！
この主語はその前の文に出て
いるコクミンシュギ（国民主
義）だ。つまり nationalism
だ。それが省略してあるんだ。
17. それにしても、日本語はむ
ずかしいな。だいたい文字
がむずかしいんだ。ローマ字
に切りかえればいいのに。
- (時計を見る)
18. 2時近くか。この調子だと
1ページを訳すのに30分か
かるなあ。
13. Wait, now. This is the
main part of the sentence...
and this is the predicate, so
the subject must be some-
where in this part.
14. So which word is the sub-
ject?
15. I just don't get it.* A Japa-
nese would probably know
right away.*
16. Oh, that's it! I got it. The
subject is "kokuminshugi"
and comes up in the sen-
tence before. In other
words,* "nationalism." It's
deleted here.
17. Japanese is so difficult. In
the first place, the charac-
ters are too hard to read.
They should be converted
to Roman letters.
18. It's almost 2. If I keep
going at this rate, it's going
to take thirty minutes just
to finish one page.

[Notes] ★get it は「わかる」という意味の会話的な言い方。★right away は「ただちに」。重要なきまり文句。★in other words は「言いかえれば」。

第 1 部

19. さあ、次へ進もう。

(原文を読む)

20. ふん、なるほど。そうか。
このあたりは楽に理解できる
なあ。

21. おや、なにに？ ガイゼン
セイ（蓋然性）と読むのか、
この字は。ちょっと辞書を引
いてみよう。

22. やはり、そうだ。ガイゼン
セイだ。なんという意味だろ
う？

23. わかった！ probability を
意味する語だ。

24. もっと日本語のむずかしい
単語をたくさん覚えなくちゃ
いけないな。

25. 会話さえできればよいとい
うものじゃないんだ。

(ユキオは仕事をつづける)

26. さあ、だいぶできたぞ。こ
こらで一休みするか。いや、
3時までつづけよう。

27. どうもシャープペンのシン
が折れていけない。シンが細
いのか、押さえようが強すぎ
るのか、どっちかな？

19. Now to go on to the next
one.

20. Hmm. I see. This section
is pretty easy to under-
stand.

21. What's this? Is this char-
acter "gaizensei"? I'd better
look it up.

22. I thought so. It's "gaizen-
sei." I wonder what it
means.

23. I got it! It means proba-
bility.

24. I really have to study
difficult Japanese words a
little more.

25. It's not enough to be able
to converse.

26. I've done quite a bit.* I
guess I'll take a rest. No,
I'll keep on until 3.

27. The lead in this pencil
keeps breaking. I don't
know if it's because the
lead is too thin or because
I'm pressing too hard.

[Note] ★quite a bit は「かなり」。

28. たぶん、両方ともだろう。
シンも少なくなったようだから、新しいのを詰めることにしよう。

(シンを詰める)

29. これでよし、と。さあ仕事を
つづけよう。

30. 日本の歴史も、もっと知っ
ておく必要があるなあ。

31. なんにしても一国の文化を
知るというのはいへんなことだ。

32. よし4ページの終わりまで
やったぞ。あ、ちょうど3時
だ。ここでひとつ休みにしよ
う。

28. It's probably both. It's
almost out of* lead any-
way, so I'll put some new
pieces in.

29. Okay, now to continue.

30. I really need to find out
more about Japanese histo-
ry, too.

31. In any case, it's not easy
to know all about the cul-
ture of one country.

32. I'm already up to the end
of page 4, and it's three o'-
clock on the dot. I'll take a
rest now.

31. 一休み

(ユキオはタバコをとり出して、ミス・パーシーに声をかける)

— ちょっとライターを。

— Can you hand me the
lighter?

(ミス・パーシーはライターを渡す)

— どうぞ。

— Sure.

— 一休みしたらどうですか？

— Why don't you* take a
rest?

— そうね、一休みするわ。

— I think I will.

[Notes] ★out of は「～が不足する」。★why don't you は「～したらどうですか」。重要なきまり文句。

第 1 部

(ミス・パーシーもタバコに火をつける)

— きょうは、あったかいね。
気温が高すぎるようだ。

— It's warm today. The temperature seems a little too high.

— 夕方は雨になるんじゃないの？

— It'll probably rain this evening.

— あ、それで思い出しましたよ。けさの電話の天気予報では、夕方雨になるかもしれないと言ってましたね。

— Oh, that reminds me. This morning over the telephone, the weatherman said it might rain this evening.

— きょうは傘を持ってこなかったから、雨が降ると困るわ。

— I didn't bring my umbrella today, so I'm in trouble if it rains.

— だいじょうぶ。駅まで僕の傘で送ってあげますよ。そういえば空は雲が多くなってきたなあ。(ユキオは窓ごしに空を見る)

— Don't worry. We can walk to the station together under my umbrella. The sky does seem to be getting cloudy.

— ニューヨークへ帰りたいと思いませんか？

— Don't you want to go back to New York?

— いまのところは、別段帰りたくないわ。だいいち東京は治安がいいですもの。

— At this point, I don't especially want to go back. Especially since Tokyo is such a safe place.

—それは言えるなあ。東京はどんなに夜おそく歩いても安全ですよ。ニューヨークでは考えられないことだ。

—You can say that again. No matter how late you walk around, Tokyo is still safe. It's something you wouldn't even think of in New York.

—そうした面では、日本は確かにすばらしい国だわ。日本人がおとなしいからかしら。

—As far as safety goes, Japan is a wonderful country. I wonder if it's because the Japanese are so quiet and well-behaved.

—それもあるでしょうし、団結力が強いせいかもしれませんね。

—That's probably true. It might also be that group pressure is so strong.

—ほんとに日本人は特殊な民族だと思うわ。

—I really think the Japanese are a special kind of people.

(ユキオは時計を見て、つぶやく)

— 3時15分だ。さあ、また仕事にかかることにしよう。

—It's 3:15. Time to get back to work again.

32. トイレ

1. 待てよ、トイレへ行きたくなってきた。ちょっと行ってみよう。

1. Wait a minute. I feel like going to the bathroom.* I think I will.

[Note] ★アメリカではトイレのことを **rest room** または **bathroom, toilet** などいろいろ言うけれども **bathroom** と言うのが最も無難な言い方。会社内にあるトイレも **bathroom** と言えば上品に聞こえる。

第 1 部

(トイレのほうへ歩きながら)

2. どうも体のふしぶしが痛むなあ。

(用を足しながら、つぶやく)

3. すいぶん不景気な世の中だが、これから先どうなるのだろう。

4. わが社は大会社だから、つぶれる心配はないだろうが、中小企業は大変だろうな。

2. My body still aches.

3. These are really hard times. I wonder what's going to happen in the future.

4. This is a large company, so there's not much worry of it collapsing, but the smaller enterprises must be having a difficult time.

33. 郵便物

(ユキオは自分の机にもどる)

1. あ、郵便が来てるぞ。なに？ オリエンタル・フォト社だって？ はてな、聞いたことのない会社だ。あけてみよう。

(中から、英文のパンフレットをとり出す)

2. なんだ。写真の売り込みか。それなら必要なし。

(別の郵便物を取り上げる)

3. これはなんだろう？ 発信人はホンコンのアンドリュース社のパーマーだって？ なんの手紙かな？

1. The mail's here. What's this? "Oriental Photo"? Never heard* of it. Let's see what it is.

2. Oh, they're just trying to sell some pictures. I don't need this.

3. I wonder what this is. It's from Mr. Palmer of the Andrews Company in Hong Kong. Wonder* what it says.

[Notes] ★Never heard～は I've never heard～の略。★Wonder は I wonder の略。

(英文の手紙を引っ張り出して見る)

4. なになに? 日本から輸出されている電子オルガンと電子ピアノについて、詳細を知らせてくれたって?

5. これは輸出3課の仕事だ。
3課のタナカ氏にこの手紙を回しておこう。

6. もう一通の手紙はなんだろう?
ヨシエ・エザキ? はてな、聞いたことのない名前だ。

(開封する)

7. こんなにくずして書いた日本語だと、どうも読みづらいな。

8. あ、そうか、わかった! これは昨年エザキ氏に本を贈ったことに対する代筆の礼状だ。
そうか、あのことは忘れていたなあ。エザキ氏は病気なんだな。

9. じゃ、さっそく見舞い状を送っておこう。

(郵便物を片づけながら)

10. さあ、また仕事だ。

4. What's this? "Please send us the details on Japanese electric organ and piano exports."

5. This is for Exports, Section 3. I'll go hand* this to Mr. Tanaka in Section 3.

6. What's this last one? Yoshie Ezaki. Hmm. Never heard of that name.

7. I can't read cursive* Japanese that's been broken down so much.

8. Oh, now I know. This is a thank-you note that Mr. Yoshio Ezaki had someone else write* for that book I sent him last year. That's right. I'd forgotten all about it. Mr. Ezaki is ill.

9. I'd better send a get-well card right away.

10. Back to work.

[Notes] ★go hand は go and hand の略。会話での言い方。★cursive は「走り書きの」。★had someone else write は「だれか他の人に書かせた」。

第 1 部

34. 翻訳の仕事 (つづき)

(書物中の一部分をシャープペンでたどりながら)

- | | |
|--|---|
| 1. ここはどうも意味がよくわからない。著者は何を言わんとしているのだろう? | 1. I don't get this. What was the writer trying to say? |
| 2. 困ったな。いくら考えても、さっぱりわからない。 | 2. No matter how* much I think, I just don't understand this. |
| 3. タバコを一服やりながら考えとするか。 | 3. I guess I'll think about it over a cigarette. |

(ユキオはタバコをとりだし、隣のミス・バーシーに言う)

- | | |
|----------------------|---|
| 4. たびたびすみません。ライターを—。 | 4. Sorry* to bother you again. Can you give me the lighter? |
|----------------------|---|

(ミス・バーシーはライターをさし出す。ユキオはそれで火をつけて、つぶやく)

- | | |
|---|---|
| 5. うーん、もっと日本語を勉強しなくちゃいけないな。会話では不自由しないのに、むずかしい文章になると、よく読めない。 | 5. I have to study Japanese more. I don't have any trouble with conversation, but when it comes to* difficult written Japanese, I have a tough time reading the characters. |
|---|---|

[Notes] ★No matter how～は「どんなに～しても」。★Sorry は I'm sorry の略。★when it comes to は「～ということになると」。重要なきまり文句。

(本文をじっと見つめる)

6. やっぱり、わからない。でも、わからないでははすまされないぞ。なんとかしなくちゃ。

6. I just don't understand. But not understanding isn't going to get me anywhere.* I've got to do something about it.

7. そうだ、こうしていてもしかたがない。輸出2課のミツダ氏に聞いてみよう。彼、いるかな?

7. It's no use sitting* around like this. I'll ask Mr. Mitsuda in Exports, Section 2. I wonder if he's there.

35. 教えを請う

(受話器をとり上げてダイヤルを回す)

— もしもし、ミツダさん? こちらは広報部のブラウンです。ちょっとお願いしたいことがあるんですが… ありがとう。すぐ行きますからね。

— Hello. Mr. Mitsuda? This is Brown from Advertising. I wonder if I could see you for a minute... Thank you. I'll be right there.*

(ユキオは本を持って立ち上がり、部長に言う)

— ちょっと輸出2課まで行ってきます。15分か20分したら帰ってきます。

— I'm going down to Exports, Section 2 for a little while. I'll be back in 15 or 20 minutes.

(ユキオは、輸出2課の事務室へ入り、ミツダ氏のところへ行く)

— やあ、ミツダさん、こんにちは。

— Well, Mr. Mitsuda. How are you?

[Notes] ★get me anywhere は「進歩する」というきまり文句。★no use～ing 「～しても無益だ」。★ふつう、会話では「そこへ行く」というのを I'll be there と言う。これは I'll go there よりも場所の感じがはっきり出ている。しかしどちらを用いてもよい。

第 1 部

— ああ、いらっしゃい。どうぞ
おかけください。

— 実は、ちょっとわからないと
ころがありましてね。教えて
いただけますか？

— なんですか？

(ユキオは本の中の文章の一部分を示しながら)

— この部分はなんという意味な
のですか？

(ミツグ氏は、のぞき込む)

— ああ、これは簡単なことで
す。日本は外来文化の影響を
受けたけれども「わび」や
「さび」の精神を失わなかつ
た、という意味ですよ。

(ユキオは、妙な顔をする)

— その「わび」とか「さび」と
かいうのはどういう意味です
か？

— Hello there. Have a seat.

— I came to you about a
passage that I just don't
understand. I wonder if you
could help me.

— What is it?

— What does this part mean?

— This is simple. This means
that in spite of influence
from foreign countries,
Japan has retained the tra-
ditional spirit of "wabi"
and "sabi."

— What does this "wabi" and
"sabi" mean?

— そうですね。ちょっと説明がむずかしいな。「わび」というのは簡素で静かな状態に対する味わいとでも言うべきでしょうか。「さび」というのは優雅な簡潔さでしょうね。別な言い方をすれば幽雅でしょうか、とにかく優雅で静かな簡潔さだと思いますね。

— 日本人は、いまでもそんな状態を好むのですか？

— そうですね。ある程度はそんな伝統が残っているでしょうが、戦後の日本人はずいぶん変わりましたからね。特に若い人はもう「わび」とか「さび」とかいう言葉さえ知らないんじゃないでしょうか。

— なるほど。要するに、これらは昔のことなのですね。わかりました。どうもありがとうございます。

— Well, it's a little hard to explain. You might say "wabi" is a taste for the simple and quiet and "sabi" would be elegant simplicity. Or to put it a little differently, refinement. In any case, I believe "wabi" and "sabi" can best be explained as elegance and quiet simplicity.

— Do Japanese still prefer that state?

— Well, although these traditions have remained with us to some extent,* Japanese have changed a bit since the end of the war. Young people, in particular, probably don't even know the meaning of "wabi" and "sabi" anymore.

— I see. In other words, these are all things of the past. I understand you. Thank you very much.

【Note】★to some extent は「ある程度」。

第 1 部

36. 最後の仕上げ

(ユキオは自分の事務所へ帰って、机に向かう。時計を見ると 4 時 10 分前)

- | | |
|--|--|
| 1. さあ、仕事をつづけよう。 あ、もうおおかた 4 時だ。 | 1. Now to get back to work. It's almost four. |
| 2. よし、この部分はこれでよし、と。そうすると次の部分は、文章の意味が楽につながることになる。 | 2. There. That does it for this part. That clarifies the meaning of the next part. |
| 3. さあ、このページはうまくいったぞ。 | 3. This page went pretty smoothly. |
| 4. よし、第 1 章はこれでだいたい終わった。それにしても*日本語はむずかしいなあ。 | 4. That just about finishes up chapter one. Japanese is so difficult. |
- (また時計を見る)
- | | |
|--|--|
| 5. 5 時まであと、30 分か。よし、それならエザキ氏に見舞いの手紙を書こう。社員として出す手紙だから、勤務時間中に書いたって、かまわないだろう。 | 5. There are still 30 minutes till 5. I might as well write that get-well letter to Mr. Ezaki. Since I'm sending this letter as a representative of this company, there shouldn't be anything wrong with writing it on company time. |
| 6. ええと、万年筆はどこへ入れたかな？ 服のポケットにはない。とすると、かばんの中かな？ | 6. Let's see. Where did I put my fountain pen? It's not in my pocket. I wonder if it's in my briefcase. |

[Note] ★この場合の「それにしても」は、英語に相当する言葉はない。

(かばんをあけてさがすが見あたらない)

7. おかしいな。確かにこの中
に入れたと思っていたのだが。

(机の引き出しをあける)

8. あ、あった！ なんだ、一
度使って引き出しの中へ入れ
たのを忘れたんだ。

9. ええと、日本語より英文で
書くほうがいいだろうな。

10. 病気だったとは知らなかつ
た。どこが悪いんだろう？

11. たいしたことではなければい
いが。

12. さあ、できたぞ。

7. That's funny. I was sure I
put it in here.

8. Here it is! I'd forgotten all
about putting it in the
drawer after using it.

9. Let's see. It would pro-
bably be better to write in
English, not in Japanese.

10. I didn't know he was ill. I
wonder what's the matter
with him.

11. I hope it's nothing serious.

12. Okay. Finished.

37. タイプを頼む

(タイピストを呼ぶ)

— ハタさん、これを至急タイプ
して给我ませんか。

— 急いでいるんですか？

— そう、帰る途中でポストに
入れようと思っているんでね。

— Miss Hata, could you type
this up for me really quick-
ly?

— Are you in a hurry?

— Yes. I want to drop it in
the mailbox on my way
home.

第 1 部

— いいわ、じゃ、すぐやりま
す。

— OK, then I'll get on* it
right away.

(彼女は大きくて英文の手紙をタイプに打つ)

— はい、これでいいのかしら。

— There. Is this what you
wanted?

— 上等、上等。ありがとう。

— Fine, fine. Thanks.

38. 退社前に一服

1. さあ、これできょうも仕事
は終わった。あとは、またあし
ただ。

1. There. That finishes up
today's work. I'll do the
rest tomorrow.

2. 一服吸ってから帰ることに
しよう。

2. I'll get ready to go after I
have a cigarette.

3. 天気はどうか？ 雨にな
るのかな？

3. I wonder how the weather
is. I wonder if it's going to
rain.

4. 黒雲がたれこめているけれ
ど、まだ雨は降っていないよ
うだ。早目に出ることにしよ
う。

4. There are dark clouds in
the sky, but it hasn't started
raining, yet. I'd better leave
pretty soon.

(部長に向かって)

— じゃ、お先に。*

— See you tomorrow.*

[Notes] ★この場合の **get on** は仕事などに「とりかかる」。★「お先に」に相
当する英語はない。

39. 事務所を出る

1. さあ、きょうはどこかの食堂に寄って夕食をすませてから帰らなくちゃいけない。
1. Let's see, now, I have to stop off* and have dinner at some restaurant before going home tonight.
2. どこにしようかな。西銀座へ出て、一杯やるか。久しぶりだ。
2. Where should I go? I know what* — I'll go out to Nishi-Ginza and have a few drinks. It's been quite a while since I've done that.
- (東京駅へ向いながら、ユキオはつぶやく)
3. 日中は暖かい天気だったが、少し涼しくなってきたぞ。
3. It was pretty warm during the day, but it's beginning to get a little cool.
- (空を見上げながら)
4. 雨は降らないだろうな。
4. I hope it doesn't rain.
- (改札口を通して、地下道を歩く)
5. 最近、この地下道は広くなったなあ。これで人込みもかなり緩和されたようだ。以前はひどかったからなあ。
5. This underground passage was widened recently. It's relieved* the overcrowding problem quite a bit. It was really pretty bad before.

【Notes】★stop off は「立ち寄る」。本来は「途中下車して、しばらく滞在する」の意。★I know what は「そうだな～」というぐらいの意味。★It's relieved は It has relieved の略。「それは～を軽減させた」。

第 1 部

(ホームへ出る)

6. わあ、やはり夕方は人が多いなあ！人間が多すぎるのか、電車が足りないのか、どちらだろうか？

(電車がホームへ入る)

7. うへーっ！ 超満員じゃないか！驚いたなあ。きょうは特別ひどいようだ。

(人にもまれながら、電車に乗り込む)

8. あいたたた。横腹をひどく押す人がいるぞ。体の向きを変えよう。きついなあ！

9. 有楽町でおりるんだから、あんまり奥へ入らないほうがいい。

10. 日本人は毎日こんなひどいめにあってよくがまんしてられるなあ。

11. さあ、有楽町だ、おりよう。うーん、苦しい。押さないで！

6. Wow! There are so many people out after dark. I don't know whether it's because there are too many people or too few trains.

7. Oh, no. It's filled beyond capacity. What a surprise. It's worse than usual today.

8. Ouch! Someone is pushing my side really hard. I think I'll change my direction. It's really tight!

9. I'm getting off at Yurakucho, so I'd better not go too far from the door.

10. The same awful thing happens to Japanese everyday and yet they're able to put up with* it.

11. Yurakucho. I've got to get off. Ugh! I can't breathe. Quit pushing!

[Notes] ★put up with は「がまんする」。重要なきまり文句。

(ひどくもまれながら、やっとホームへ出る)

12. ああ、ひどい目にあった。
やっとの思いでおりられたなあ。
12. Phew! That was terrible. I don't know how I got off there, but I did it!
13. 服はしわだらけになるし、靴も泥だらけだ。
13. My clothes are all wrinkled and my shoes have dirt all over them.

(改札口を出る)

14. さあ、どの方向へ行こうかな。交通会館の左側に沿ってまっすぐ行こうか。
14. I wonder which way I should go. I think I'll go straight along the left side of the Kotsukaikan.

(歩きながら、つぶやく)

15. 日本人は男も女もみなりっぱな服装をしているなあ。ニューヨークとはだいぶ様子が違うなあ。
15. The men and women are all dressed so sharply in Japan. It's quite different from New York.
16. でも、同じ洋服を着ていても、なんだか妙な感じがするんだ。
16. But even though they wear the same clothes as foreigners do, the Japanese somehow look a little strange in them.
17. 日本人の洋服が身についていないのではなくて、皮膚の色か体格のせいなのかな？
17. It isn't that the clothes don't look good on Japanese, but maybe it's because of the skin color or build.

第 1 部

18. それに日本の男は、服を着ると、やたらにネクタイをつけたがる。そしてネクタイをつけるとタイピンをつけたがる。

19. タイピンなどは、アメリカではとっくの昔にすたれてしまったのに。

20. 日本人の若い女は、昼間からイヤリングなどをしている。昼間にパーティーがあるわけでもないだろうが――。

(周りの店を見ながら)

21. さあ、どの店へ入ろうかな。このあたりは高いから慎重に選ばなくちゃ。

22. 輸出 3 課のヤマモトさんが言っていたぞ。銀座で飲み歩く日本人には成り上り者が多いんだって。

18. And besides that, Japanese men seem to wear neckties with everything. And when they wear neckties, they have to wear tiepins, too.

19. In the States, tiepins went out of style a long time ago.

20. Young girls in Japan wear earrings and other jewelry during the day. It isn't as though they have parties to go to or anything.

21. I wonder where I should go. It's pretty expensive to drink around this area, so I'd better choose very carefully.

22. Mr. Yamamoto in Exports, Section 3 was saying that a lot of the Japanese who go drinking on the Ginza are just people who've suddenly become rich or influential.

23. ほんとうの通は銀座には来ないらしいなあ。でも、ぼくはめったに繁華街へは飲みに出ないんだから、成り上りものでも通でもないや。

23. The real experts don't come to the Ginza, but since I hardly ever go to the really hustling, bustling sections of town to drink, I'm neither an expert nor part of the nouveau riche.*

(横の通りに入る)

24. これという店が見当たらない。安くて、たっぷり飲める店がいいんだが――。

24. I can't seem to find a good place. I want someplace where I can drink a lot for a little. A lot for the least amount of money.

25. どれもこれも高そうだな。日本では、あとで勘定するから、そのときに吹かけられても、文句が言えないんだ。

25. They all look so expensive. In Japan, they hand you the bill later, so you can't complain if they demand an outrageous price.

40. 飲み屋へ入る

(一軒の小料理屋を見つける)

1. ここがよさそうだ。よし、ここへ入ろう。

1. This looks okay. I guess I'll go in here.*

(店の中へ入り、水割りとヤキトリを注文する)

2. ここは少し騒がしいな。でも、まあいいや。

2. It's kind of noisy in here. Oh, well.

[Notes] ★nouveau riche [nú:vou-ri:] はフランス語で「にわか成金」。英語でも使う。★I guess I'll go in here は普通言わないが、しいて言えばこのようになる。

第 1 部

(おしほりで顔をふきながら)

3. こういう飲み屋は、アメリカのと根本的には変わらないんだが、どこか違うなあ。

4. とにかく日本の飲み屋は騒がしくて陽気なんだ。みんなひどく大きな声で話すし。

(すみで飲みながら、大声でわめいている 4 人連れの男たちを見て)

5. あんなに大声で話さなくてもいいのに。まるでけんかをしているみたいだ。

(別なグループを見る)

6. あの 50 年配の男があのグループのいちばん上の人だな。ずいぶんいばっているな。

7. でも、部下たちもああまでペコペコしなくてもよさそうなものだが――。

8. たぶんあの上役から飲み代をおごってもらっているんだろうな。

3. These kinds of drinking establishments are basically the same as those in the States, but still, something is different.

4. Anyway, Japanese bars are so noisy and lively. Everyone speaks so loudly, too.

5. Why do they have to speak like that? It sounds like they're quarreling.

6. That man over there in his fifties probably holds the highest position in the group. He's really throwing his weight around.*

7. But there's no need for his subordinates to be so subservient to him.

8. They're probably having their drinks paid for* by their superior.

[Notes] ★throw his weight around は「彼の権力を振り回す」という意味のスラング的な表現。★having their drinks paid for は「彼らの飲み物に対して支払ってもらう」。

(注文の品が来る)

9. さあ、やるか。(水割りを飲む) ああ、うまい! 生きかえったような気持ちだ。(ヤキトリを食べる) これはかわいいバーベキューだ。いかにも日本的だ。でも、うまい。

(タバコをとり出して、一服つける)

10. 日本へ来て3年余り——。
ずいぶん、いろいろなことを体験したけれど、まだ日本の実態はわからないなあ。

11. 東京という町がわからないのに、日本のことがわかるわけがない。

12. 日本人はメキシコ人に似ているが性質はまるで違うようだ。

13. メキシコ人はのんびりしているが、日本人はずいぶん精力的だ。

14. こんなに騒がしいのも、彼らが精力的である証明なのだろう。

15. そのくせ日本人は、一方では恥ずかしいがりやなのだ。
「日本人とは何か」ということが、どうもよくわからないな。

9. Well, here goes, Mm...
That tastes good. I feel like I've been brought back to life. What cute little barbecued chicken. It's so Japanese. It's good, though.

10. It's been over three years since I came to Japan. I've experienced a lot, but I still don't know what Japan is really like.

11. How can I understand Japan if I don't understand Tokyo.

12. Japanese look like Mexicans, but they're so different in character.

13. Mexicans are so relaxed, but Japanese are so full of energy.

14. Maybe all of this noise is just proof that they're overflowing with energy.

15. In spite of that, though, Japanese are so shy. I still don't understand the Japanese.

第 1 部

16. それで思い出した。カリフォルニア大学に留学していた日本人学生を——。
17. 彼は英語があまりうまくなかった。おかしい発音で話すものだから、みんなに笑われていたっけ。
18. そして、そのたびに彼は女のように、* しょげていた。
19. だが彼は柔道の達人だった。白人たちは彼を恐れて、手を出さなかったなあ。
20. 女のように恥じ入って、しかも柔道はすごく強い——。これが、ぼくにはわからないんだなあ。
- (ユキオは少し酔ってくる)
21. もう一杯飲むか。
- (水割りとヤキトリを再び注文する)
22. おや、あの女の人、かなり酔っぱらってるな。変な男にからまれなきゃいいが——。
16. That reminds me of* that Japanese student, who was studying at the University of California.
17. He wasn't very good in English. His pronunciation was so poor that everyone always laughed at him.
18. And because of that, he fell into a depression.*
19. But he was a real expert in judo. All the Caucasians were too afraid to lay a hand on him.
20. He was so shy and bashful, yet he was so strong in judo. That's what I just can't understand.
21. I think I'll have another drink.
22. That woman is pretty drunk. I hope some strange guy doesn't try to bother her.

[Notes] ★That reminds me of～は「それが私に～を思い出させる」。★英語では男を批評して「女のような」と言えたいへん失礼になるので、普通は言わない。

(とどいた水割りを飲みながら)

23. 日本人は拳銃を持っていないから、安心して飲めるんだ。

24. きょうもパーシーさんが言ったように、ほんとうに日本の治安はいいなあ。

25. このすばらしい国に、いつまでも住みたいものだが、そうはいかぬだろう。

26. 東京にいるのは、せいぜい3～4年ぐらいかな。そのあとはロサンゼルスかニューヨークの支店へ転勤だろうな。

(ユキオはメリー・ハラという三世を思い出す)

27. ところで、ロサンゼルスของเธอはどうしているかなあ。

28. しばらく手紙が来ないが、元気なのだろうな。

29. そうだ、今夜帰ったら彼女に手紙を書こう。

30. そして、この間日比谷公園で写したばかりの写真をいっしょに送ろう。

23. Japanese don't carry pistols, so at least I don't feel my life is in danger while I drink.

24. It's just like Miss Parcy said today. Japan is really a safe place.

25. I'd like to stay in this great country forever, but I doubt if I'll be able to.

26. I guess I'll be in Tokyo for about 3 or 4 years at the most. After that I'll probably be transferred to the branch office in either Los Angeles or New York.

27. By the way, I wonder how my girlfriend over in Los Angeles is doing.

28. I haven't heard from her in a while, but I guess she's doing all right.

29. I know. I'll write her a letter tonight when I get home.

30. And I'll send her that recent picture of me in Hibiya Park.

第 1 部

31. 一度、日本へ遊びに来なさいと書くことにするか。

32. 彼女は日本を過小評価しているから、東京を見たら驚くだろうな。

33. ああ、いい気分になった。そろそろ出ることにするか。

31. I think I'll invite her to visit Japan sometime.

32. She underestimates Japan, so Tokyo will probably surprise her.

33. I'm beginning to feel pretty good. Guess I'd better get going.

41. 店を出て帰途につく

(支払いをすませて外に出る)

1. 思ったほど高くはないな。でも安いというほどでもない。まあ、銀座なら、こんなものだろう。

2. これから食事をしてもいいんだが、もう食べたくないなあ。

3. もうどこにも寄らないで、このまままっすぐ帰るとするか。

1. It's not as expensive as I thought it would be, but it's not what you'd call cheap. I guess it's about par for the course for the Ginza.

2. I guess I could have dinner now, but I'm not really hungry.

3. I think I'll just go straight home without stopping off anywhere.

(ユキオは有楽町駅のほうへ向かって歩く)

4. 銀座の夜のネオンはきれいだなあ。さすがは世界一だ。

4. The neons on the Ginza are so beautiful. It's no wonder they're number one in the world.

[Note] ★get going は「出かける」という意味の会話用語。

(ビールの泡が盛り上がるネオンを見る)

- | | |
|--|--|
| 5. ほう、あのネオンはおもしろいな。アイデアは抜群だ。 | 5. That's an interesting neon sign. It's a great gimmick.* |
| 6. おや、あのネオンは文字なのか絵なのかかわからない。おかしなネオンだ。 | 6. Hmm, you can't tell whether that neon forms a picture or letters. What a strange sign. |
| 7. これで、夜空に星が輝いていれば最高だろうな。だが東京では晴れた夜でも星はほとんど見えないんだ。 | 7. Now if only the stars were shining in the night sky, it would be great. In Tokyo, though, even when it's clear you can't see the stars. |

- | | |
|--------------------------|--|
| 8. 夕刊を買って、電車の中で読むことにするか。 | 8. I'll buy an evening paper and read it in the train. |
|--------------------------|--|

(売店で夕刊を買ったあと、切符売り場で切符を買う)

- | | |
|----------------------------------|--|
| 9. あとは家へ帰るだけだ。もう急ぐことはない。ゆっくり帰ろう。 | 9. Only thing left to do now is to go home, so there's no need to hurry. I'll take my time.* |
|----------------------------------|--|

(駅のホームへ出る。1人の日本人が外人と英語で話し合っているのをそばで聞く)

- | | |
|---|---|
| 10. おかしな英語だな。発音が日本式なのはしかたがないにしても、会話らしい英語になってないな。これは文章体の英語だ。 | 10. What strange English. The Japanese accent can't be helped but it just doesn't sound like spoken English. He's using literary English. |
| 11. 高校や大学で、もっと生きた会話を教えないとダメだ。 | 11. The high school and universities really should teach more useful English. |

[Notes] ★gimmick は「新案物」。★take my time は「ゆっくりする」。

第 1 部

(ユキオは、ホームの人込みの中をゆっくりと歩く)

12. この人たちはほとんど勤め人だろうな。みんなそれぞれの生い立ちがあり、環境があり、異なる宿命を背負っている。
13. だれが何を考えようと、何をしようと、みな歴史の流れの中に消えてしまうんだ。
14. これが人間の生き方というものだろうなあ。
12. All of the people here are probably working people. They all have their own different lifestyles, environments and unique destinies.
13. No matter how each person may think or what he may do, everyone here will disappear with the passing of time.
14. I guess that's life, though.

42. 帰りの電車

(電車が入ってくる)

1. おっと、電車が来たぞ。山の手線か。よし、これに乗ろう。
2. ずいぶん込んでるなあ。これじゃ車内で夕刊は読めないな。しかたがない、家に帰ってから読もう。
3. でも日本人は、ほんとうによくがまんするよ。彼らは、電車は込むものと思い込んでいるのだろうな。
1. Here comes my train. It's the Yamanote Line. Guess I'll get on that.
2. It's pretty crowded inside. I guess I won't be able to read my paper, then. Oh, well, I'll just read it when I get home.
3. Japanese put up with so much. They probably think trains are supposed to be crowded like that.

(電車は神田駅へ着く)

4. さあ、次は秋葉原だ。ドアの近くへ行っておかないと、おりられなくなるぞ。

4. Akihabara is next. If I don't get next to the door, I won't be able to get off.

(ユキオは満員の車内で、なんとか動こうとする)

- ごめんなさい。次でおりるんです。すみません。

- Sorry. I get off at the next stop. Excuse me.

(電車は秋葉原駅へ入る)

5. 秋葉原駅に着いたぞ。さあ、おりよう。ああ、ひどい目にあった。このあとの総武線が、また込むんだろんなあ。ほんとうに東京の電車はうんざりするよ。

5. Aah ... Akihabara at last. Now to get off. That was terrible. The Sobu Line after this one will probably be crowded, too. I get so fed up with* the crowded trains in Tokyo.

(階段を登って、ホームへ出る)

6. わっ、ここもたいへんな人だ。電車は超満員になるだろうな。

6. Wow! It's really crowded here, too. The train will probably be packed.

7. 電車が来たぞ。これに乗るか、それとも、このあとの電車に乗るか、どっちにしようかな。

7. Here comes the train. I wonder whether to take this train or the next one.

8. 急がないんだから、このあとの電車にしよう。すぐ来るだろう。

8. I'm not in a hurry, so I might as well take the next train. It'll probably come right away.

[Nate] ★fed up with は「うんざりする」、「飽き飽きする」。

第 1 部

(入り口のところで無理やり押し入ろうとしているのを見て、つぶやく)

- | | |
|--------------------------------------|--|
| 9. 電車に乗るだけでもたいへんだなあ。アメリカでは考えられないことだ。 | 9. It's even difficult to just get on the train. It's something you wouldn't even worry about in the States. |
|--------------------------------------|--|

(駅員が、あわただしく電車の後方へ走っていく)

- | | |
|---|--|
| 10. おや、何かあったのかな？ 事故が発生したのか？ | 10. I wonder what happened? Has there been an accident? |
| 11. ああ、電車の窓ガラスがこわれたんだ。超満員のために、だれかがガラスに押しつけられたんだろう。ひどいもんだ。 | 11. Oh, a window broke. It's so crowded that someone was probably pushed against the glass. That's pretty bad. |
| 12. さあ、やっと電車が動きだしたぞ。あとの電車はすぐ来るだろう。 | 12. The train's finally started to move. The next train will probably come right away. |
| 13. こんどの電車はすいているだろうな。 | 13. It probably won't be that crowded. |
| 14. あ、電車が来た。ほう、すいている、すいている。これはいい！ 待ったかいがあったぞ。 | 14. Here comes the train. It's not crowded. Great! Good thing I waited. |

(がらあきの電車にゆっくりと乗り込む)

- | | |
|---|---|
| 15. よし、これなら夕刊が読めるぞ。 | 15. I can even read my paper. |
| 16. 日本語の新聞は100パーセントは読めないが、これもいい勉強になるんだ。 | 16. I can't read everything in the Japanese newspaper, but this is good practice. |

17. やっぱりわからない単語が、
ときどき出てくるなあ。
18. そういう単語には印をつけて
おいて、あとで調べるよう
にするといいんだが、それが、
わりとめんどくさいなあ。
19. でも、もっと積極的に日本語の勉強をしなくちゃいけないなあ。
20. よし、帰ったら学習計画を立てることにしよう。
(窓を透かして外を見る)
21. はてな? いま、どのあたりを走っているんだろう?
錦糸町は過ぎたかな、それともまだかな?
(電車は錦糸町駅へ入る)
22. なんだ、ここが錦糸町か。
23. あと5~6分で新小岩だ。
ミチコはまだ家に帰っていないだろうな。
24. 帰ったらすぐにシャワーを浴びることにしよう。
25. それからハラさんに手紙を書くんだ。
17. Just as I thought. There are some words I don't know.
18. I should mark those words and look them up later, but it's too much trouble.
19. I really must start studying Japanese more positively.
20. When I get home I'm going to make up a study plan.
21. Hmm. I wonder where we are now? I wonder whether we've passed Kinshicho or not?
22. Oh. This is Kinshicho right here.
23. In about 5 or 6 minutes I'll be in Shinkoiwa. Michiko probably won't be home yet.
24. As soon as I get home I'm going to take a shower.
25. And I have to write a letter to Mary.*

[Note] ★girl friend だから親しみをこめて Mary と言っている。

第 1 部

26. あっ、しまった！ 東京駅
地下街のDP屋へ寄って、カ
ラー写真を受けとってくるの
を忘れた！ うっかりしてた
なあ。

27. しかたがない。あす、帰り
に寄ろう。

28. あの写真の中でよく写って
いるのがあれば、ハラさんに
送ってやろうか。彼女は喜ぶ
だろう。まだ東京を見たこと
がないんだから――。

29. さあ、電車が川を渡り始め
たら、もうすぐ新小岩だ。

(電車は川を渡って新小岩駅に着く)

30. よし、おりよう。

(ホームへ出て、階段をおり、改札口に出る)

31. あれ、雨が降っているの
か！やはり天気予報どおりだ。
よし、きょうはタクシーで帰
ろう。

26. Oh, no. I forgot to pick up
the color pictures at the
underground center in To-
kyo Station. That was
really careless of me.

27. Oh well. I can't do any-
thing about it now. I'll stop
by on my way home tomor-
row.

28. If there are some good
pictures, I'll send them to
Mary. That'll probably
make her really happy*
because she hasn't seen
Tokyo yet.

29. The train has started to
cross the river so we're
almost in Shinkoiwa.

30. I've got to get off.

31. Hey, it's raining, just like
the weather report said. I
guess I'll go home by taxi
today.

[Note] ★make her happy は「彼女を喜ばせる」。

43. タクシー

(ユキオは傘を広げてタクシー待ちの行列に並ぶ)

1. 雨が降ると、やはりタクシーに乗る人が多いんだなあ。

1. Whenever it rains, there are always so many people riding in taxis.

(ときどき、行列の間を人がすり抜けて通るのを見て)

2. 行列の間をすり抜けるときは「失礼します」と言うのがアメリカでは普通なのに、日本人は何も言わないで通り抜けていく。

2. In America, it's customary to say "Excuse me" when you cut through* a line, but Japanese don't say anything.

3. 人込みの中で体がぶつかっても、ほとんどの人は何も言わないんだ。

3. Even after bumping into others in a crowd, most people don't say anything.

4. 日本人はすぐれた民族だが、こういうマナーになると、まだダメだな。

4. Japanese are a very superior people in many ways, but as far as manners are concerned, they still have a long way to go.

5. でも日本人は根本的には、おとなしい民族だ。超満員の電車ですし詰めにされても、みんな黙ってがまんしている。

5. But Japanese are basically a quiet people. Even when they are packed like sardines in a crowded train, they just endure it silently.

[Note] ★cut through は「すり抜けて通る」。

第 1 部

6. あれがニューヨークだった
ら暴動が起きるかもしれない。
ニューヨークの地下鉄は危険
だからなあ。それを思えば東
京の地下鉄や電車は全く安全
だ。

6. If it were New York,
violence might even erupt.
The New York subways
are so dangerous. If you
think of that, the subways
and trains in Tokyo are so
safe that it's a cinch.

7. どんな民族でも長所や短所
はあるんだ。パリではタクシ
ーに乗るのに、こんな行列な
どつくらないで、われがちに
乗るんだからな。

7. Any nation has its good
points and its bad. In Paris,
the people don't line up for
taxi. It's every man for
himself.*

(行列の最先端へ出る)

8. さあこんどはぼくの番だ。
タクシーが来たぞ。

8. It's my turn now. Here
comes the taxi.

(タクシーに乗りこんで行先を告げる)

9. 日本のタクシーはりっぱだ。
アメリカのタクシーはオンボ
ロ車が多いんだが——。

9. Japanese taxis are quite
impressive looking, but the
taxis in the States are just
heaps.*

(タクシーはユキオの住むマンションの前で止まる。料金を支払う。運転手は黙っ
て受けとる)

10. 東京では料金を受けとって
礼を言わぬ運転手が多いけれ
ど、これもアメリカでは考え
られぬことだ。なんとかなら
ぬものかなあ。

10. Most drivers in Tokyo
don't say thank you when
you pay the fare, but that's
another thing that doesn't
happen in the States. I
wonder if something can't
be done about it.

[Notes] ★It's every man for himself は「みんながかってにやる」の意。★
heaps は俗語で「かたがたの自動車」。

(マンションの入り口で郵便箱をあける)

- | | |
|------------------------------------|--|
| 11. 郵便は来ていないかな？ | 11. I wonder if there's any mail. |
| 12. おや、何も入っていないぞ、 ミチコが先に帰ったのかな？ | 12. Hmm. There's nothing in the mailbox. I wonder if Michiko's home already. |

44. 家に着く

(ユキオは8階の自分のアパートへ行き、カギでドアをあけて、中へ入る)

- | | |
|--|--|
| — 帰ったよ。 | — I'm home.* |
| — あら、お帰りなさい、お兄さん。 | — Hi, Yukio. |
| — なんだ、先に帰っていたのか。 | — You're home already. |
| — 新宿へ靴を買いに行っただけど、気に入ったのがなかったから、すぐ帰ったわ。 | — I went to buy shoes in Shinjuku, but I couldn't find anything I like, so I came home right away. |
| — 夕食はすませたかい？ | — Have you eaten? |
| — いま作っているところなの。お兄さんは？ | — I'm fixing dinner right now. How about you? |
| — 銀座で一杯やったんだが、食事はまだだ。 | — I had a drink in the Ginza, but I haven't eaten yet. |
| — いいわ。いっしょに食事を作るわ。 | — Okay, then I'll make your dinner, too. |
| — じゃ、それまでふろへ入るよ。 | — Then I guess I'll take a bath now. |

【Note】★またはI'm back. とも言う。ただし、普通はあまり使わない。

第 1 部

(シャワーを浴びて出てくる)

— ああ、いい気持だ。これです
っかり疲れがとれた。

— Aah. This feels great. I
feel like all the fatigue has
gone out of my body.

45. テレビを見て就寝

(ユキオは簡単な夕食をとりながら、新聞のテレビ番組を見る)

1. 今夜は、たいした番組はな
いな。ほう、9時からNHK
3チャンネルでパイヤール室内
管弦楽団の演奏があるな。ビ
バルディの「四季」その他か。

1. There's nothing good on
T.V. tonight. Hmm. There's
a concert by the Paillard
chamber orchestra on NHK
channel 3 at 9 o'clock.
They're going to perform
Vivaldi's "Four Seasons"
and others.

2. パイヤールは日本に来てい
るんだな。いま何時だろう?
8時40分か。

2. Paillard is in Japan right
now. I wonder what time it
is? 8:40.

3. テレビを見ればメリーに手
紙が書けなくなる。

3. If I watch T.V., I won't be
able to write to Mary.

4. どうせ手紙は急がないんだ。
それよりもテレビでパイヤ
ールの演奏を見よう。またとな
い機会だから —。

4. Oh well. The letter can
wait. I'll watch the concert
by Paillard on T.V. I might
not have another chance.

(9時からユキオはテレビを見る)

5. ああ、いい演奏だ! イ・ム
ジチもいいが、こっちもい
いなあ。たいしたものだ!

5. What great music! I
Musici is pretty good, but
so is this. Fantastic!

6. あ、10時か。眠たくなった
なあ。もう寝ることにしよう。

(自室へ入り、パジャマに着かえ、ベッドに横になって、つぶやく)

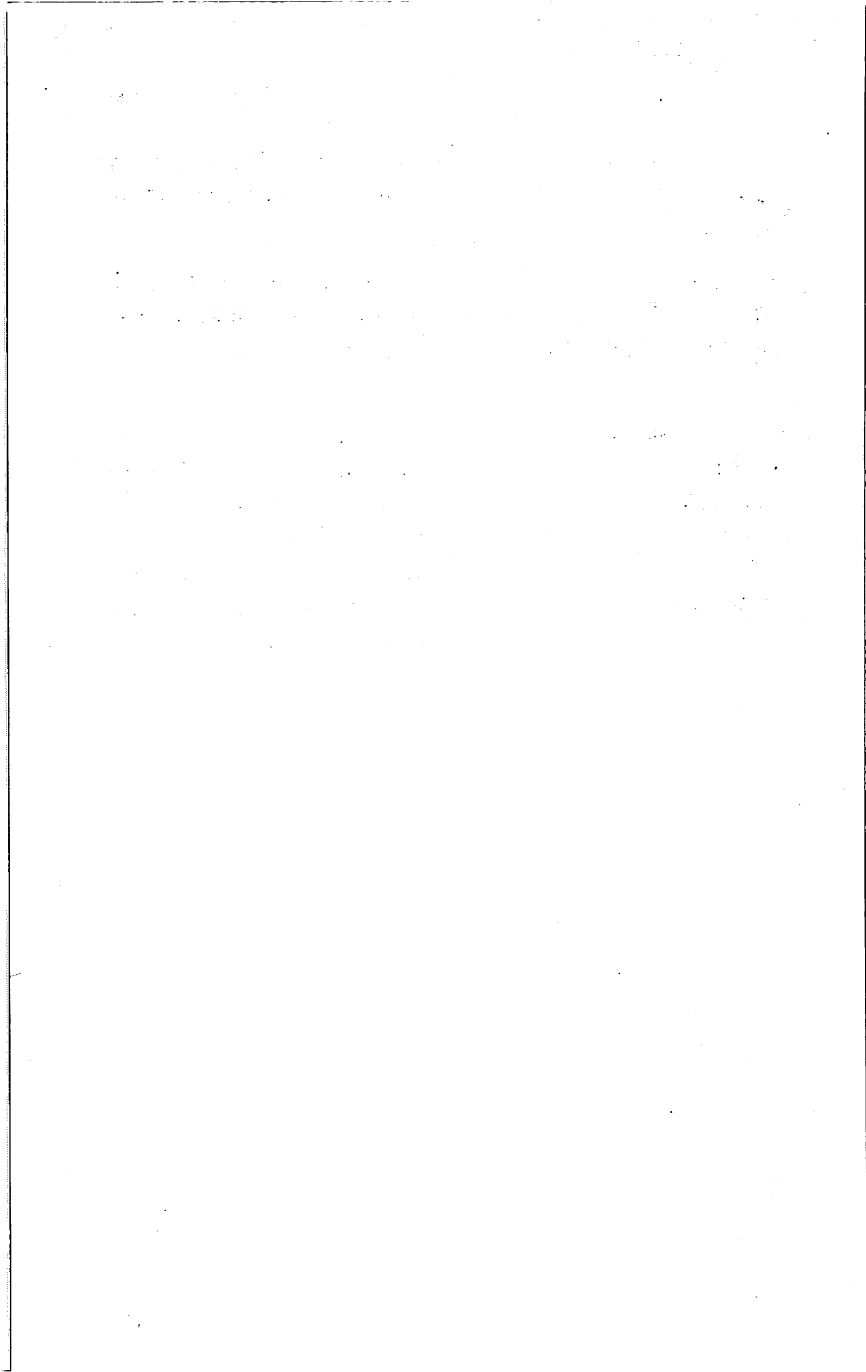
7. きょうもこれで終わった。
ぼくはきょう一日誠実に一生
懸命働いた。反省して悔いる
ことはない。

8. 万物に感謝しよう。こうし
て健康に生きていることをす
なおに喜ぼう。あしたはあし
たの風が吹く。「あすのこと
を思いわずらうなかれ」だ。
さあ、電灯を消して眠ろう。

6. It's ten and I'm getting
sleepy. I think I'll go to bed.

7. Well, I made it through
another day. I did my best
and have no regrets.

8. I thank the Creator for
everything. I'm thankful to
be alive and well. Tomor-
row is another day. "Don't
worry about tomorrow."
Now to turn off the light
and go to sleep.



第 2 部

この第2部では、アメリカ人が日常生活で頻繁に口に出す重要な短い言葉を集めてみました。これらの表現をよく記憶して、実際の行動に際して自分で何度となく同じ英語を口に出していれば、いつの間にかそれが習慣となり、ついには母国語のような語感が身につくことになります。こうした重要なきまり文句を身につけないで、高度な内容の英文をいくら読んでも、英語を母語国同様に自分のものにすることは不可能です。とにかく日常生活で同じ表現を何度となく口に出して、つぶやくクセをつけてください。

1. 仕事に関するきまり文句

1. さあ、始めよう。

Okay, let's get started.

2. ぼつぼつとりかかるかな。

I guess I'll get started.

3. どれから手をつけるかな。

I wonder where to start from.

4. この仕事からやっていこう。

I guess I'll start here.

5. (うんざりしたような顔をして)

これは大仕事だ！(または)これはたいへんだ！

Oh no!

6. まだ仕事がたくさん残っているぞ。

I've still got so much work left to do.

第 2 部

7. (仕事をしながら)

なかなか、はかどらないな。

I don't seem to be making much progress.

8. どうも、うまくいかない。

This just isn't going right.

9. やる仕事が多すぎるんだ。

I've got too much work to do.

10. (仕事がスムーズにいくので、喜んで)

ほう、仕事がうまくいくぞ。

Things are going pretty well.

11. この調子なら早く終わるだろう。

At this rate, I'll be finished in no time.

12. 少し休むことにするか。

I think I'll take a short break.

13. (何かの仕事がうまくいったので)

ああ、うまくいった!

Oh! Perfect!

14. さあ、一仕事終わったぞ。

That does it for this job.

15. やれやれ、これで安心だ。

Well, that's a relief.

16. こんどは応接間の掃除をするかな。

Now to clean up the living room.

17. ついでに洗濯しよう。

I might as well do the washing, too.

18. ゴミ捨て場へゴミを捨てにいこう。

I guess I'll take out the garbage.

★家の中にたまるあらゆる廃物やくずなどを、総称して **garbage** と言う。

19. 台所仕事を始めよう。

I guess I'll get started in the kitchen.

20. (テーブルの上が散らかっているを見て)

きたないな。片づけよう。

It's pretty messy. I'd better clean off the table.

21. さあ、これできれいになった。

There, now it's clean.

22. (難儀な仕事をやりながら)

この仕事は楽じゃないな。

This job isn't too easy.

23. ああ、くたびれた。

Oh, I'm so tired.

24. 無理をしないで、ぼつぼつやろう。

I'm just going to take my time.

25. 6時までには終わるだろう。

I should be done by six.

26. (他人が、つらい仕事をしているのを見て、話しかける)

たいへんですね、のんびりやってくださいよ。

That's pretty tough. Take it easy.

27. いまは何もすることはない。ひまだ。

I don't have anything to do.

第 2 部

28. いま仕事で忙しいんだ。

My work is keeping me busy.

29. いま仕事 중이다. 動けないよ。

I'm on the job right now. I've got my hands full.

30. ちょっと用事があるので失礼します。

If you'll excuse me, there's something I have to do.

2. 気分・感情に関するきまり文句

1. ああ、愉快だ。

I feel so happy.

2. うれしいなあ。

I feel so joyful.

3. 楽しいなあ。

This is fun.

4. (野球の試合などが好ゲームに展開するのを見て)

ほう、これはおもしろいぞ。

Hmm... this looks pretty interesting.

5. (テレビのユーモラスな番組などを見て)

ふん、これはおもしろそうだ。

Hey! This looks pretty good.

6. (テレビで天才少女が暗算で急速に計算するような光景を見て)

すごいなあ! たいしたもんだ!

Wow! That's really something!

★この something は「たいしたもの」という意味。よく用いる言葉。

7. (英語を達者にしゃべる人を見て)

うまいなあ! たいしたものだ。

He's really good! Wow!

8. (展覧会で、すばらしい美術作品などを見て)

ふーん、すばらしいなあ!

Umm... Fantastic!

9. (同)

ほう、これはすごい!

This is really something!

10. (同)

なんだ、たいしたことはないな。

This isn't too much.

11. (同)

つまらないな。

How boring.

12. (同)

失望したなあ。

What a disappointment.

13. (同)

うん、これなら、まあまあだ。

Well, this isn't too bad.

14. (同)

こんなのは、ダメだ。

This is no good.

第 2 部

15. (同)

全然ダメだ。

This is no good at all.

16. (テレビで、つまらない番組を見て)

なんだ、ばかばかしい！

This is ridiculous.

17. (同)

なんだ、人をばかにしているぞ。

What do they think I am (we are)?

★「彼らはおれをなんと思っているんだ」の意から、「人をばかにしている」となる。

18. (同)

全然おもしろくないや。

This isn't interesting at all.

19. (同)

ああ、うんざりした。

I'm sick of this.

20. (同)

これには、もうこりごりだ。

I've had it with this.

21. (テレビで、すばらしいマジックの実演を見て)

ふーん、驚いたなあ！

Hmm. Amazing!

22. (同)

へー、信じられないなあ！

I can't believe it!

23. (UFOや宇宙人が出現したという話を聞いて)

まるで夢のような話だな。

That's almost like a dream.

24. (同)

いったい、ほんとうなのかな？

Can that be true?

25. (同)

怪しげな話だな。

It sounds incredible.

26. (同)

なんだか恐ろしいな。

It's a little frightening.

27. (同)

身の毛がよだつよ。

It makes my hair stand on end.

28. (同)

もしかすると、ほんとうかもしれないぞ。

It could be true.

29. (同)

ぼくは信じてやりたいな。

I'd like to believe him.

30. (同)

ほんとうかうそか、ぼくにはよくわからないな。

I'm not really sure whether it's true or not.

3. 健康や精神の状態に関する表現

1. きょうは気分がいいぞ。

I feel good today.

2. 体の調子は上々だ。

I'm in pretty good condition.

3. (机の上を整頓したあと)

ああ、これでスカッとした。

Now I feel a lot better.

4. きょうは元気いっぱいだ。

I'm full of energy today.

5. さあ、(仕事・勉強などを)バリバリやるぞ。

I'm going to work like crazy. (または like mad.)

★crazy は形容詞だが、会話では強調するためにこのように言う。

6. (仕事・勉強などの前に)

どうも気が進まないな。

I just don't feel like doing this.

7. さっぱり、やる気がしない。

I just don't feel like doing anything.

8. 何かしら憂うつだ。

I feel depressed.

9. どうも、おもしろくないな。

This isn't much fun.

10. 頭が痛いなあ。(実際の頭痛)

Oh...my head hurts.

11. 頭が痛いなあ。(実際の頭痛ではなくて、心の悩みを意味する)

Hmm... This is such a bother.

12. (テープレコーダー、その他の器具がこわれて)

ああ、こわれた。

Oh, no. Now it's broken.

13. 困ったことになったぞ。

This is a problem.

14. どうしたらいいだろう。

What should I do?

15. いやになるなあ。

This is making me sick.

16. (こわれたテープレコーダー、その他の器具をいじったあと)

これは、ダメだ。

This is no good.

17. (同)

役に立たない。

This is no use at all.

18. (自分に言い聞かせる)

いや、あきらめるな。

Don't give up.

19. もっと(修理や努力を)やってみよう。

I think I'll try a little more.

20. (腹痛)

ああ、腹が痛い。

Oh, my stomach hurts. ★「腹」という場合も **stomach** と言う。

第 2 部

21. 胃が痛む。

My stomach hurts.

22. 歯が痛んで、しょうがないなあ。

I've got a toothache that won't quit.

23. きょうは気分が悪い。

I don't feel too well today.

24. 体がだるいなあ。

I feel so lazy.

25. (疲労や体の痛みで)

ああ、苦しい。

Oh! This is so painful.

26. (心の悩みで)

ああ、いらいらするなあ。

This is frustrating.

27. なあに、へこたれないぞ。

I won't give up.

28. さあ、元気を出そう。

I've got to cheer up.

29. 頑張ろう。

I have to do my best.

30. よし、やるぞ!

Okay, here goes!

4. 学習に関する表現

1. さあ、英語を勉強しよう。

Now to study my English.

2. きょうは、どこから始めるかな。

I wonder where to start today?

3. 24ページの7行目からにするか。

How about the 7th line on page 24?

4. いや、待てよ、その前の23ページをもう一度復習しなくちゃ。

No, before that I have to review page 23 once more.

5. (英文をたどりながら)

よし、ここはわかっている(理解している)。

Okay, I've got this part down all right.

6. ここもよし、と。

This part's okay, too.

7. この部分は完全に記憶済みだ。

I've got this part memorized completely.

8. ここも、だいじょうぶだ。

This is okay, too.

9. よし、わからないところはない。

I understand all of this.

10. いや、待てよ。この単語の意味を忘れたぞ。

Wait! I forgot what this word means.

11. これはなんという意味だったかなあ。

Let's see. What did this mean?

第 2 部

12. 思い出せないなあ。

I just can't remember.

13. こんなことでは話にならないなあ。

At this rate, I'll never get anywhere.

14. あ、思い出した。わかったぞ！

Now I remember. I got it!

15. これは～という意味だ！

This means～.

16. だから、この一節は～という意味になるんだ。

So this part means～.

17. よし、じゃ、24ページの7行目からやることにしよう。

Okay, now on to line 7 on page 24.

18. この overhang とは岩の一部だな。

"Overhang" means part of a rock.

19. はてな？ shrill とはなんという意味かな？

Wait. What was "shrill"?

20. 辞書を引いてみよう。

I'd better look it up.

21. ははあ、「金切り声を出す／かん高い声で歌う」という意味か。

Aaa. It means "to shriek/to sing in a shrill voice."

22. これは重要単語じゃないか。

This is an important word.

23. こんな単語を知らなかったとは、情けない。

How stupid! I didn't even know this word.

24. これで, “the melody of the pearl shrilled in his ears” の意味は, はっきりしたな。

Now I understand “the melody of the pearl shrilled in his ears.”

25. “He reached over the side of the canoe” 中の over は, この場合どういう意味だろう?

“He reached over the side of the canoe.” “over”...
Hmm... I wonder what “over” means here?

26. こんな単語は, なくてもいいのに—。

This word isn't really necessary.

27. ちょっと辞書で調べてみるか。

Better look it up.

28. なになに「動作が行われる場合の距離感をあらわす」?

What's this? “Indicates the sense of distance when action takes place.”

★Indicates の前に It が来るのが省略してある。

29. なるほど。そうすると, この場合は「come over」や「be over」と同じ用法だ。

I see. Then, this is used in the same way as “come over” or “be over.”

30. よし, このページもこれでよし, と。

That's it for this page.

第 2 部

5. 日常の雑事に関する表現

1. ちょっと用事に出てこよう。

I'll go run some errands.

★go run は go and run の略。会話的表現。

2. どの服を着ようかな。

What am I going to wear?

3. セーターにノータイでいいだろう。

A sweater without a tie will probably be okay.

4. 先に別な用事をすませよう。

I'd better finish that first.

5. (用事が終わって) さあ、すんだぞ。

There, finished.

6. (外へ出てから)

どこと、どこへ寄るかな。

What places shall I stop by?

7. まず薬局へ寄って軟膏を買おう。

First I have to stop by the drugstore and get some ointment.

8. その次に郵便局へ寄って、この手紙を書留で出しておこう。

Then to the post office to send this letter by registered mail.

9. そのあと、書店に寄ろう。

After that, to the book store.

10. 急ぐことはない。時間は十分にある。

No need to hurry. I've got plenty of time.

★No need to は There's no need to の略。

11. ついでに東西デパートへ入ってみよう。

I think I'll stop by the Tozai Department Store.

12. 文房具売場は、どこかな？

I wonder where the stationery department is?

13. シャープペンのシンと赤のボールペン 1 本とプラスチック消しゴムがほしいんだ。

I want some sharp pen refills, a red ball pen and a plastic eraser.

14. 青インクも必要だな。

I need some blue ink, too.

15. ほかに必要なものはなかったかな？

Was there anything else I needed?

16. ほかに用事がなければ帰ることにするか。

I don't have any other errands, so I guess I'll go home.

17. 歩いて帰るか、それともバスに乗るかな。

I wonder whether to walk or take the bus.

18. バスはすぐに来そうにないや。

Hmm. It looks like a long wait.

19. じゃ、家まで歩こう。

I'll walk.

20. 歩くのは運動になっていいんだ。

Walking is good exercise.

第 2 部

21. たまには走るのもいいんだがなあ。

Running is good, too, once in a while.

★once in a while は「ときたま」という意味の重要なきまり文句。

22. 健康を保つには走るのが最上なんだ。

Running is the best way to keep in shape.

★keep in shape は「形をくずさないようにする」の意から「健康を保つ」

23. (帰宅してから)

少し、くたびれた。

I'm getting a little tired.

24. (赤のボールペンで試し書きをして)

おや、この赤い色はあまりよくないな。

This red color isn't too good.

25. もっとあざやかな赤色がよかったのに。

I should've gotten a brighter red.

26. (消しゴムを使ってみる)

ほう、これはいいぞ！ よく消える。

This is good! It erases really well.

27. *さあ、部屋の掃除でもするか。

Well, I guess I'll clean my room.

28. 机の上を少し整理しよう。

I think I'll clean up the top of my desk a bit.

29. ゴミを捨てにいこう。

I have to take out the garbage.

30. さあ、洗濯でもするか。

I guess I'll do the laundry.

31. きょうは天気がいいから、洗濯物がよく乾くぞ。

The clothes should dry well because the weather's nice today.

32. きょうは雨だから、洗濯物は当分乾きそうにないなあ。

It's going to take a while for the clothes to dry because of the rain.

33. さあ、食事の支度をしよう。

Now to get supper (または dinner, lunch, breakfast) ready.

34. きょうは(料理を)何にしようかな。

I wonder what to fix tonight.

35. 豚肉のフライに、野菜サラダを作ろう。

How about fried pork and salad?

36. ソースがなくなった。買ってこなくちゃ。

We're out of sauce. I have to go buy some more.

★go buy は go and buy の会話的な言い方。

37. しょうゆも切れた。

No more soy sauce, either.

38. これじゃおさしみが食べられない。

I can't eat sashimi like this.

39. コーヒーはまだ2～3日分ある。

The coffee will last another 2 or 3 days.

★another の前に for が来るのが普通だが、会話ではなくてもよい。

第 2 部

40. 紅茶はたくさんあるから当分だいじょうぶ。

There's plenty of tea. I won't have to buy any of that for a long time.

41. この茶碗は、よごれている。

This rice bowl's dirty.

42. よく洗わなくちゃ。

I have to wash it well.

43. この台所はきたないなあ。

This kitchen's so dirty.

44. もっと清潔にしなくちゃ。

I have to keep it cleaner.

45. このジュースの空きカンは捨てよう。

I can throw this empty juice can away.

46. 豚肉がまだ冷蔵庫にあったはずだがー。

There should still be some pork in the refrigerator.

47. (冷蔵庫をあけて、中をさがす)

おや、豚肉がないぞ。勘違いしていた！

Hey, there's no pork. I made a mistake.

48. ほう、牛肉があるじゃないか。

Hmm. Here's some beef.

49. ふん、これはいい！ これを焼き肉にしよう。

What luck! I can barbecue this.

50. この米びつは流し台のほうへ少し移動させよう。

I should move this rice bin over to the sink.

51. そのほうが便利だ。

That's more convenient.

52. (手でかかえる)

重たいなあ。よっこらしょ、と。

Oh, this is heavy.

★「よっこらしょ」とか「どっこいしょ」にあたる英語はない。

53. (米びつを移動させて)

これでよし、と。

That does it.

54. (自分の着ているセーターを見て)

これも、もう着かえなくちゃいけないな。

I'd better change.

55. 今夜、ふろに入ったら下着も着かえよう。

I'll change my underwear after I take a bath tonight.

56. そろそろふろに入るかな。

I guess I'll take a bath now.

57. 湯を出そう。

I'll turn on the hot water.

58. さあ、湯がたまったぞ。

There, now the tub's filled.

59. (脱衣場で着物を脱いで浴室へ入る。湯に手をつける)

熱い！ もっと水をうめよう。

Ouch! It's hot! I'd better turn on the cold water.

60. せっけんが残り少なくなったな。まあいいや。

There's not much soap left. Oh, well.

第 2 部

61. これだけあれば体が洗えるだろう。

This is enough to wash myself with.

62. (バスタオルで体をふいて、着物を着る)

ああ、いいふろだった。さっぱりした！

That was really refreshing.

63. ついでに手足のつめを切っておこう。

I might as well clip my nails, too.

64. (窓から外の景色を見る)

あの夕焼けは、きれいなあ！

What a beautiful sunset!

65. レコード音楽でも聴くかな。

I think I'll put on a record.

66. いや、それよりもテレビをつけよう。

No, I'll turn on the T.V.

67. もう、そろそろニュースの時間だ。

It's almost time for the news.

68. (テレビをつける)

少し音が大きすぎる。もっと小さくしよう。

It's a little too loud. I'd better turn it down.

69. (ボリュームを落とす)

おや、これは声が小さすぎる。よく聞こえない。

Now it's not loud enough. I can't hear well.

70. (適当なボリュームにする)

よし、これでちょうどいい。

There. That's just right.

71. (画面を見る)

なに？ フィリピン大統領夫人だって？

What? The First Lady of the Phillipines?

72. きれいな女性だな。

She's an attractive woman.

73. (画面がぼやける)

おかしいな。どうしたんだろう？ 故障かな？

That's funny. I wonder what happened? Maybe it's on the blink.

★on the blink は機械などが「故障して」

74. このテレビも、もう古いからなあ。

This T.V. is getting a little old.

75. もう買いかえてもいいころだ。

It's about time to buy a new one.

76. 人間でも機械でも、みな寿命があるんだ。

Machines, as well as human beings, have life spans.

77. (画面が鮮明になる)

ほう、きれいになったぞ！

Hey, the picture's clear again.

78. (画面を見ながら)

近ごろはどうもろくな番組がないな。

There's so much trash on T.V. lately.

★trash は「くず」, 「がらくた」, 「駄作」

第 2 部

79. セックスや暴力を売り物にするような番組は、もう飽きがきたよ。

I'm so tired of these shows that sell nothing but sex and violence.

★この場合の **sell** はアメリカ会話用語で「売り込む」「売り物にする」の意。

80. こんな番組を見るより寝たほうがまだ。

I'd rather go to sleep than watch programs like this.

第 3 部

以上の第1部と第2部を日常生活に生かして、ひとり言をいうクセをつけた人は、ある程度、英語の語感が身についたはずです。英米人同様の「英語で考えることのできる世界」を、小さいながらも確立したわけです。こうなれば、あとは一般の英会話書や英米の映画の台本などを読むことが全然苦にならず、おもしろいように暗記できるようになります。

それもよいのですが、本書の第3部では、日本人が外人に英語で何かを頼むときに、最も重要と思われる会話表現を収録しておきますので、これをまずマスターしてください。以下の会話はひとり言ではなく、本来は相手を必要としますが、「いつの日か自分にはこういう英語をしゃべる必要が起こってくるんだ」と考えて練習してください。

依 頼

(女子大生のアケミと米人宣教師のスミス氏との電話での会話。ていねいな言葉を使う)

Akemi: Mr. Smith, ちょっと、お願いしたいことがあるんですが――。

Mr. Smith, I wonder if I could ask you a favor?

S: はい、为什么呢？

Sure. What is it?

A: いま Hemingway の「武器よさらば」を英語の本で読んでいますが、意味のよくわからないところがあるんです。教えてくださいませんか。

I'm reading Hemingway's "A Farewell to Arms" in English right now, but there are some parts that I don't understand. I wonder if you could explain.

第 3 部

S: あなたは急いでいるんですか?

Are you in a hurry?

A: いいえ、急いではありません。先生のご都合のよいときでけっこうですわ。

No, I'm not in a hurry. Any time that's convenient for you is fine.

S: そうですね。あすの午後—ええと、午後の3時か3時半ごろではどうですか?

Let's see. Tomorrow afternoon. How about three or three thirty?

A: (喜んで、声がはずむ) はい、けっこうでございます。どこでお目にかかれますでしょうか?

That's fine. Where can I meet you?

S: 教会へいらっしゃいませんか?

Can you come to the church?

A: はい、まいります。3時過ぎにまいります。どうもありがとうございました。

Yes, I'll be there after three. Thank you very much.

★「そこへ行きます」という場合は、だいたいに **I'll be there.** と言う。日本人はよく **I'm going.** と言ったりするが、これでは「いまいる場所から去っていく」という意味になり、まるきりおかしいことになる。

(大学生のハルオが米人留学生の友人スティーブ君に電話で話す。あまりていねいな英語ではなく、友人同士のくだけた会話)

H: もしもし、Steve? こちら Haruo だ。

Hello, Steve? This is Haruo.

S : やあ、こんにちは。

Well, hello.

H : ちょっとお願いがあるんだ。

I wonder if you could do me a favor.

S : なんだい？

What is it?

H : あす、箱根へ行くんで、きみのオートバイを貸してもらいたいんだ。

I'm going to Hakone tomorrow and I'd like to borrow your motorcycle.

S : ああ、いいよ。いつ取りに来る？

Sure. When do you want to pick it up?

H : いまからすぐ行くよ。いいかい？

I'll be right over. Is that all right?

S : いいとも。

Sure.

(女子大生のアケミがスティーブ君に電話をかける。友人同士の会話)

A : もしもし、Steve さん？ あたし Akemi よ。

Hello, Steve? This is Akemi.

S : やあ、こんにちは。どうですか？

Oh, hi! How're you doing?

A : 元気よ。ありがとう。ちょっと、おたずねしたいことがあるんだけど――。いいかしら。

Pretty good. There was just something I wanted your opinion about. I wonder if it's okay?

第 3 部

S: ああ, いいですよ。

Yeah, sure. Go ahead.

A: 実は, あたしアメリカの友達に英文の手紙を書いているんですけど, この英文が正しいかまちがっているか, 教えていただきたいんです。ちょっと読んでみましょうか? (アケミは英文を読む)

I'm writing a letter to my American friend and I wanted to make sure my English was all right. Shall I read a little for you?

★make sure は「確かめる」

S: もう一度ゆっくり読んでみてください。—なるほど, 悪くはないですね。ただ information のあとの of を on にし, responsible のあとの to を for に直せばいいでしょう。

Could you read it again a little more slowly, please?
— I see. It's not bad. Just change the "of" after "information" to "on" and the "to" after "responsible" to "for", and it'll be okay.

A: そうですか。どうもありがとうございました。

I see. Thank you so much.

(大学生ハルオが米人宣教師スミス氏に電話をかける)

H: もしもし, Mr. Smith? Haruo です。

Hello. Mr. Smith? This is Haruo.

S: やあ, こんにちは。どうですか?

Well, hello. How are you?

H: ありがとう。元気です。先生は?

Fine, thanks. How about you?

S: 私も元気です。ありがとう。

I'm fine, too. Thanks.

H: 実は、お願いがあるんですが――。

The reason I called is because I wanted to ask you a favor.

S: 为什么呢？

What is it?

H: 古代の日本文化に関して essay を英文で書いたんですが、一度見ていただければと思いまして――。

I wrote an essay in English on ancient Japanese culture and I wonder if you wouldn't mind going over it once.

S: 喜んでお手伝いします。

I'd be glad to.

H: 教会へ持っていきましょくか？

Should I take it over to the church?

S: そうですね。今週の土曜日の午後に外出しますから、そのときにどこかで会いましょくか？

Let's see. This Saturday afternoon I'll be going, so how about if we meet somewhere then?

H: そうですか。それなら土曜日の午後1時に、新宿の紀伊国屋の入り口のところでお会いして、それから近くの喫茶店へ入りましょくか。

Okay. Why don't we meet Saturday at one o'clock in Shinjuku in front of Kinokuniya. After that we can go into some nearby coffee shop.

第 3 部

S: それはいいですね。じゃ紀伊国屋の入り口のところで会いましょう。

That sounds good. In front of Kinokuniya at one, then?

(会社員クボタは、仕事の関係で外資系商社の米人社員ホワイティング氏に電話をかける)

T: もしもし, Mr. Whiting? Planet 社の Kubota です。

Hello, Mr. Whiting? This is Kubota from Planet.

W: やあ, こんにちは。お元気ですか?

Hello. How are you?

T: ありがとう。元気です。あなたは?

Fine, thanks. How about you?

W: 私も元気です。ありがとう。

I'm fine, too. Thank you.

T: 実は, あなたの会社のカタログの内容について, いろいろお聞きしたいことがあるんですが—。

I'm calling about your company's catalog. There were a few things I wanted to ask you about.

W: ああ, そうですね。いいですよ。

I see. Sure.

T: 明後日ご都合はよろしいですか?

Are you free the day after tomorrow?

W: そうですね。明後日の午後なら都合がいいと思います。

Let's see. I'm free in the afternoon the day after tomorrow.

T:じゃ夕方の5時半に有楽町の日劇前で会いましょうか?

Why don't we meet in Yurakucho in front of the
Nichigeki at 5:30, then?

★Why don't we は「～しましょうか」と誘いかける重要なきまり文句。

W:いいですよ。そこで会いましょう。

Fine. I'll see you there.

(2日後、クボタは日劇前に5時20分ごろに行く。まだホワイティング氏の姿は見えない。クボタは、つぶやく)

T:少し早かったなあ。まあいいや。私が相手よりも遅れて来たら、たいへん失礼になるところだった。(時計を見る)5時25分。あと5分か。(遠くの人込みの中に Mr. Whiting が見える)あ、来た、来た。ぴたり時間どおりだ。

I'm a little early. Oh, well, it would be a great
insult if I were to come late. It's 5:25. Five more
minutes. Ahh! Here he comes! He's right on time.

(ホワイティング氏が近寄って微笑する)

W:やあ、こんにちは。

Well, hi there.

T:こんにちは。そこのニュートーキョーへ入りましょうか。いっしょに食事をしながら話しましょう。(2人は連れ立って歩く)

Hi. Why don't we step into the New Tokyo over
there? We can talk over dinner.

以上のほかに依頼・約束関係の類似表現として次のようなものがあるので、よく記憶しておく必要があります。以下の例文は(A)がていねいな表現、(B)は友人同士の気さくな表現です。

第 3 部

1. ちょっと、お話ししたいことがあるのですが—。

(A) There's something I would like to talk to you about.

(B) There's something I want to talk to you about.

2. ちょっと、ご相談したいことがあるのですが—。

(A) There's something I would like to consult with you about.

(B) I'd like your advice about something.

3. ちょっと、助けていただきたいのですが—。

(A) I wonder if you could help me with something.

(B) There's something I'd like your help with.

4. ちょっと、私に会っていただけませんか？

(A) I wonder if I could arrange to see you sometime?

(B) Can I see you?

5. すみませんが、棚の上の荷物をとっていただけませんか？

(A) I wonder if you could get that package on top of the shelf for me?

(B) Could you get that package on top of the shelf for me?

6. 明日の夕方、お訪ねしてよろしいでしょうか？

(A) I wonder if it would be all right to visit you tomorrow evening?

(B) Can I come over tomorrow evening?

7. ええ、いいですよ。お待ちしております。

(A) That's fine. I'll see you then.

(B) Sure. See you then.

8. この仕事を今週土曜日までにやっておいてくださいますか？
 (A) I wonder if you could have this finished by Saturday?
 (B) Could you finish this by Saturday?
9. この仕事は、いつまでにやればいいのですか？
 (A) When should I have this completed by?
 (B) When do you want this done by?
10. (人の荷物が置いてあるために通れないようなとき)
 すみませんが、その荷物をちょっとのけてくださいますか？
 (A) Excuse me, but I wonder if you could put this package up for me?
 (B) Could you put this package up for me?
11. ちょっと、この仕事を手伝ってくださいませんか？
 (A) I wonder if you could help me with this?
 (B) Could you help me with this?
12. 英語で（または日本語で）話し合うことにしませんか？
 (A) Shall we speak in English (または Japanese) ?
 (B) How about speaking in English (または Japanese) ?

まだ類似表現はたくさんありますが、重要なきまり文句を常にひとり言をいって身につけてしまうことがたいせつです。顔見知りの外人から How are you? (どうですか?) と聞かれて、即座に Fine, thank you. (元気です、ありがとう) と答えられる日本人は案外少ないということですが、その理由は簡単です。Fine, thank you. という言葉を常日ごろ、口に出していないからです。しかし外人の話し相手がいらないのに、こんな言葉が口から出るわけがないという人があるかもしれませんが、そこは人間だけに与えられた“想像力”という特権をフルに発揮して、外人から話しかけられる光景を想像

第 3 部

しながら、ひとり言をいえばよいのです。いくらなんでも、その程度の想像は必要です。

外国語の学習をあまりにむつかしく考えて、“高度な学問”とみなしますと、かえって障害になります。軽い気持ちで、むぞうさに英語を口に出すという態度がたいせつです。まちがえたら恥ずかしい？ ナーニ気にする必要はありません。「いつか必ずうまくなるのだ！」という鉄のような信念を持ってやってください。外国語の習得に知能や素質はあまり関係なく、根本的には信念の強さと“慣れ”にかかっています。オット少々説教めいて失礼しました。とにかく気軽に楽しくやることです。

第 4 部

日本人がしゃべったり書いたりする英語の誤りを指摘していたらキリがありませんが、根本的に理解できていないと思われる重要な項目を次にあげてみます。これはどういうわけか日本の学校では教えないとみえて、相当に教養のある人や英語ができると自負する人でも、知らなかったり、まちがえたりします。

1. 分詞構文は文語体

- a) Having heard that her husband was killed, she began to cry.
- b) When she heard that her husband was killed, she started to cry.

上の2例の英文はいずれも「夫が殺されたということを聞いて、彼女は泣き始めた」という意味ですが、(a)の例文はいわゆる分詞構文といわれるもので、高校の英語の時間にはよく書きかえを練習したりします。しかし(a)は実は文語体（というよりもむしろ文章体）であって、会話には普通用いません。会話として口に出してしゃべる場合は(b)の文章のように、副詞節に主語と動詞が含まれていなければなりません。したがって(a)と(b)では同じ意味でもニュアンスが違います。ここのところの説明はむづかしいのですが、しいて日本語にすれば次のようになるでしょう。

- a) 夫の他殺を聞かされ、彼女は泣き始めた。
- b) 夫が殺されたということを聞いたとき彼女は泣きだしたんです。

2. 文章体と会話体との相違

日本語でも「～である。～であった」という調子の文章体と、「～です。～でした」という会話体との区別があるように、英語にも一応区別があります。日本語ほどに明確な差はないのですが、やはりあるのです。前記の分詞構文などはその一例ですが、次の場合もそうです。

- a) Many policemen assumed the boy to be innocent.
- b) Many policemen assumed (that) the boy was innocent.

上記の2例はいずれも「多くの警官は、その子どもが潔白であると思った」という意味ですが、(a)は文章体であり、(b)は会話体です。このような例はほかにもたくさんありますが、おもなものを次にあげてみましょう。各例文とも(a)が文章体で、(b)が会話体です。大体に同じ意味ですが、文章体では文法が正確で、むつかしい言葉を使い、文が長くなりますが、会話体では文が短くて、平易な言葉を使い、簡潔になります。

- (1) a) Giovanelli had from the first treated him with distinguished politeness. (Henry James の "Daisy Miller" より)

ジョヴァネリは最初から特別でいねいに彼をもてなした。

- b) Giovanelli was polite to him from the beginning.

ジョヴァネリは最初から彼にはていねいでした。

★**from the first** は **from the beginning** に変えて、最後にもってくる。文の中にはさむと文章体になる。**with distinguished politeness** というようなむつかしい言葉は、会話では避けるようにする。

- (2) a) A clarinet was vibrating sensuously and the men were standing up and moving eagerly forward.

(Ralph Ellison の "The Invisible man" より)

クラリネットが官能的に鳴り響き、人々は立ったまましきりに前方へ動いていた。

- b) There was a clarinet playing and the men were standing up and moving forward really eagerly.

クラリネットが鳴っていました。そして人々は立ったまましきりに前方へ動いていました。

★**vibrating sensuously** は文章用語なので、会話では簡単に **playing** と言うほうがよい。**eagerly** のような副詞はあとにまわす。

- (3) a) I had never been so aware of policemen on foot, on horseback, on corners, everywhere, two by two.

(James Baldwin の "Notes of a Native Son" より)

徒歩や騎馬で、街角やいたるところに 2 人ずつで警官がいるのを、私はこれほどまでに気づいたことはなかった。

- b) I was never so aware of policemen before. They were everywhere — on foot, on horseback, on corners, and two by two.

私はそれまでに警官たちにこんなにまで気づいたことはありませんでした。彼らはいたるところにいました。—— 徒歩や騎馬で、街角に 2 人ずつでネ。

★会話で過去のことを言う場合は(a)のように過去完了にしなくても、単なる過去形でもよい。

- (4) a) After Rodrigues had been in prison a few months, he was confronted with Christovao Ferreira, the apostate who was now writing anti-Christian propaganda.

ロドリゲスは数カ月間、刑務所にいたあと、反キリスト教宣伝文を書いていた背教者のクリストヴァン・フェレイラと出会った。

- b) After Rodrigues was in prison for a while, he met Christovao Ferreira. Ferreira is the apostate who writes anti-Christian propaganda now.

ロドリゲスはしばらく刑務所にいたあと、クリストヴァン・フェレイラに会いました。フェレイラはいまは反キリスト教宣伝文を書いている背教者です。

★was confronted with は文章用語なので、簡単に met とする。(a)のように長い文章は会話ではこまぎれにしてしゃべる。

- (5) a) She decides to shake hands with the black guest of honor, just as she would with anyone else, and makes certain that all those present take notice of this munificently unprejudiced gesture.

彼女はだれとでもそうするように、その黒人の来賓客と握手をすることにきめる。そして居合わせた人のすべてが、この気前のよい偏見のないそぶりに注目していることを確かめる。

- b) She shook hands with the black guest of honor just as she would anyone else and she made sure that everyone noticed.

彼女はだれにでもそうするように黒人の来賓客と握手しました。そしてだれもが注目していることを確かめました。

★(a)のように動詞を現在形にするのは、文章による情景描写を強めるためである。会話では過去形にして簡単にする。

- (6) a) An hour later, looking out of the window, I saw Grossbart headed across the field.

(Philip Roth の “Defender of the Faith” より)

1時間後に、私は窓の外を見ながら、グロスバートが野原を前進しているのを見た。

- b) An hour later, I looked out the window and saw Grossbart headed across the field.

1時間後に、私は窓の外を見ました。そしてグロスバートが野原を前進しているのを見ました。

★(a)のように **looking out of the window** という形は会話ではあまり用いないので、(b)のごとく **I looked out~and** というかたちにする。

- (7) a) Pointing with a slightly grimy finger at the fresh-made tray of chocolate fudge, he said, “I’ll take fifteen cents’ worth of this, Mr. Crocker.”

(Thomas Wolfe の “The Lost Boy” より)

新品の盆に盛ったチョコレート・ファッジをきたない指でゆびさしながら、彼は言った。「これを15セントほどください。クロカーさん」

- b) He pointed his grimy finger at the fresh-made tray of chocolate fudge and said, “I’ll take fifteen cents’ worth of this, Mr. Crocker.”

第 4 部

新品の盆に盛ったチョコレート・ファッジを、彼はきかない指でゆびさして言いました。「これを15セントほどください。クロカーさん」

★すでに述べたように、**Pointing**～という分詞構文は会話では用いないので、**He pointed**～と普通の形で言う。そしてあとを～**and said**, とつなぐのが会話調。

- (8) a) She decided to buy some plumcake but Downes's had not enough almond icing on top of it so she went over to a shop on Henry Street.

(James Joyce の "Clay" より)

彼女は干しぶどう入りケーキを買うことにきめたが、ダウンズの品はケーキの表面にアーモンドの糖衣がたっぷりとつけてないので、彼女はヘンリー通りの店へ行った。

- b) She decided to buy some plumcake but Downes's didn't have enough almond icing on it so she went over to a shop on Henry Street.

★(b)の意味は(a)と全く同じだが、会話では **had not** と言わないで **didn't have** と言う。

- (9) a) She was rigid for a long time, never taking her eyes from the window.

(McKnight Halimar の "The Storm" より)

彼女は長い間じっとして、窓から目を離さなかった。

- b) She was rigid for a long time and kept her eyes on the window.

★この場合も(b)は(a)と同じ意味だが、**never taking her eyes** という -ing のついた形は会話で用いないので、**and kept** というふうにつないでしゃべる。

- (10) a) Nor did anyone laugh except Mike, who, finding himself without support and meeting the dark gaze of the newcomer, opened his mouth and was quiet again. (Graham Greene の "The Destructors" より)

マイク以外にはだれも笑わなかった。彼は支持者(いっしょに笑ってくれる人)がいないのに気づいてから、新参者の暗い凝視にあい、口をあけてまた黙り込んだ。

- b) No one laughed except Mike, and when he found he was without support and the newcomer gave him a dark look, he opened his mouth and was quiet again.

★これも(a)と(b)は同じ意味だが、(a)の **who, finding himself** は会話では(b)のように、**and when he found** ~と変えて言う。

まだ英文の実例は無数にありますが、紙面の都合により省略します。しかし以上の例や説明だけでも「な—るほど、英語の文章体と会話体には、こんな相違があったのか!」と、ひざを打ってうなずかれることと思います。要約しますと、会話体の英語は(1)むづかしい言葉を避ける、(2)分詞構文は用いない、(3)関係詞などもあまり用いない、(4)こまぎれの単文を **and** や **but** などの接続詞でつないで

ゆく、(5) It is~のごときは It's~とつづめて言う、となります。

しかしおおぜいの群集の前で講演や演説を行うときや、学者その他の社会的地位の高い人と高度な内容の話をするときは文章体英語でしゃべることもあります。そうした実例はアメリカ大統領の演説集でもごらんになるとよいでしょう。だが会話の、ある場合に言うきまった言い方はありますから、それを知らないで和製英語を作ると、とんでもないことになります。たとえばネズミの死がいをぶらさげている子どもを見て、顔をしかめながら「捨てなさい」と言うつもりで、“Abandon it.”と言うと、これはケツサクな英語になります。この場合は百パーセント“Throw it away.”と言うのです。こうしたことも本書を熟読されれば、大体の輪郭はつかめるはずで

す。

本書の内容を真剣に学習し、英語でひとり言をいうクセをつけた読者は、かつては英語を口から出すことに非常な抵抗を感じてウンともスンともしゃべれなかった（というよりも、何をどのようにしゃべればよいか全くわからなかった）状態からあざやかに脱け出て、急速に英語づいた自分を発見し狂喜しているはずです。そして、「英語で考える」とはどういうことなのか、いや、それよりもまず「英語とはどんなものなのか」が、鮮明になってきたことと思います。これで一つの大きな壁がくずれたわけですから、さらに作戦を拡張して前進を続けてください。いつか必ずすばらしいバイリンギストになれるでしょう。

索引

A

ad 25
aisle 35
another 131
appalling 24
as far as~go 46
as well 38

B

bathroom 83
be about to 68
be confronted with 150
be back 51
be home 48
be late for school 28
be not of any use 76
be used to 73
become 20
besides that 62
better 33
boss 69
bus 32

C

cab 31
celebrity 26
chore 15
clothes 18
come back 51
come home 48

come up with 64
comedy 67
company 38
could you 51
crazy 122
cut through 109

D

delete 78
disparity 72
doesn't 20
don't have to 57
drop by 27
drop in 27

E

exam 25
excuse me 37

F

fed up with 105
feel 16
find it 55
find out 30, 49
fix it 56
fix up 42
for quite a while 71
from 25
from the first 148

G

gadgets 64
garbage 117
get 19, 21
get going 102
get in touch with 50
get it 79
get me 22
get me anywhere 87
get off 33
get old 20
get on 32, 92
get ready 27
get rid of 62
get to 35
get to eat 61
get used to 73
get-up 66
gimmick 103
go buy 131
go get 21
go hand 85
go run 128
go take 71
gotten 19
guess I'll 56

H

have a puff 70
have him call 51
have someone else write 85

have their drinks paid for 98

have to 57
heaps 110
hold on 52
how about 24
how'd 21

I

I don't know about that 73

I get him for you 52
I guess I'll 28
I guess I'll go in 64, 97
I know what 93
I think I'll 17, 28
I wonder 15
I'd better 18
I'll bet 29
I'll be there 87, 138
I'm 15
I'm back 111
I'm home 109
I'm sorry 37
I've got 16
I've got to 26
if only 32
in any case 26
in other words 79
in the world 77
ingredients 61
isn't 17
It'd be better 56
It's been 52
It's every man for himself 110

It's no wonder 24

It's relieved 93

It's supposed 64

J

Japanese 45

K

keep in shape 130

know 30

L

later on 31

lead 55

let it get me down 27

Let's see 18

look out of the window
151

look over 42

look up 77

looks 25

M

make her happy 108

make it back 69

make it in time 40

make sure 140

might as well 20

miss 40

more often than not 46

morning 21

N

never heard 84

no 40

no doubt 32

no doubt about it 62

no matter how 86

no need to 129

no use~ing 87

nouveau riche 97

now that 30

now to 19

O

on the blink 135

on the dot 17

on the nose 17

once in a while 130

only makes sure 24

optimistic 27

or 27

out 51

out of 81

outfit 28, 66

over there 68

P

packed 32

paper 42

point 152

pretty 31

probably 16

pull in 58

pull open 17

pull out 69
push 42
put up with 94

Q

qualm 73
quite a bit 80

R

rave reviews 67
really 16
really do the job 55
rest 75
rest room 83
ride 32
right away 79

S

see what I can do 41
sell 26, 136
shame 36
sleep like a log 15
something 118
sorry 41, 86
S's 35
stand out 36
start on it 53
stomach 123
stop 37
stop by 25, 48
stop off 93
style 66

T

take 21
take care of 53
take its toll on 15
take my time 103
taxi 31
thanks 23
that good 64
that reminds me of 100
That's it 20, 68
that's why 43
the 32, 58
there's no need to 23
there's nothing better than 22
the rest 75
throw his weight around 98

throw up 38
the States 61
they 58
This is too much 35
time to 17
to some extent 89
to the point 44
to work 38
toilet 83
Tokyoites 72
too good for words 22
traffic jam 33
trash 135
trivia 26
two-bit 44

U

used to 46

V

vacant seat 60

very 16

vibrate sensuously 149

W

water's 19

we 44

weird 23

what's going on 51

what man wants 63

when it comes to 86

where's 19

whether~or not 63

why don't you 81

why don't we 143

worth~ing 27

with a unique Japanese

touch 54

wonder 15, 84

wonder if 59

word 44

wording 42

work 38

Y

year 23

you 21, 54, 77

you're 21

your 21

ひとり言でマスターできる英会話

昭和54年 6月5日 第1刷発行 定価720円

昭和57年 5月30日 第6刷発行

著 者 久保田 八郎
アン・デイクス

発行者 石川 晴彦

発行所 株式会社 主婦の友社

東京都千代田区神田駿河台1-6 〒101

振替/東京2-180番

電話/東京(03)294-1111 (大代表)

印刷所 凸版印刷株式会社

©H.KUBOTA/A.DACUS 1979

Printed in Japan 1089-905853-3062

もし落丁、乱丁その他不良品がありましたら、おとりかえします。お買い求めの書店か本社へお申してください。



久保田 八郎 1924年生。島根県出身。
慶応大学文学部卒。ノンフィクションミ
ステリー作家。UFOと宇宙哲学の研究グ
ループ「日本GAP」を主宰。外国語研究
家でもあり、翻訳書多数。毎年外遊し、
主として古代遺跡の視察を行っている。



アン・テイカス 1956年にアメリカ人
を父とし、日本人を母として米オクラホ
マ州で生まれたアメリカ人。座間米軍基
地の外人専用小学校と中学校を出て、カ
リフォルニア州で高校と短大を卒業後、
ふたたび来日し、上智大学国際部を卒業。
英会話教師。